

令和4年度実施事業における
点検・評価 報告書

令和5年10月
四條畷市教育委員会

目 次

	ページ
四條畷市教育委員会の取組み	1
1 事務の点検・評価について	
(1) 点検・評価の趣旨	2
(2) 点検・評価の対象	2
(3) 点検・評価の実施方法	2
(4) 点検評価シートの見かた	3
2 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	4
(2) 教育委員会の役割	4
(3) 教育委員会の開催状況	5
(4) 教育委員の主な研修及び活動	
① 教育委員	8
② 教育長	8
教育委員会組織図(令和4年4月1日現在)	10
3 点検評価シート	
<u>基本方針1【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】</u>	
1 乳幼児期から小中学校への円滑な接続と連携の推進	12
2 情報活用能力の育成と習熟度に応じた学習支援の強化	14
4 ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	16
10 体力向上の取組み	17
11 学校給食を通じた食育の推進	19

基本方針 2【個を認め、寄り添い、活かす教育の推進】

13 個の状況に応じた必要な支援の提供	21
17 識字施策の推進	23
19 不登校児童生徒等への適切な支援	25

基本方針 3【地域の教育コミュニティづくりへの支援】

20 地域とともにある学校づくり	27
21 部活動の地域との連携	29

基本方針 4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

25 多様化、高度化する学習ニーズに応じた生涯学習の推進	31
27 ライフステージ、ライフサイクルにあわせて主体的に学び、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう、関係団体と連携した推進体制の充実	36
29 四條畷の宝を市民に広く周知していく体制の充実	40
30 読書の重要性についての発信の強化	42

基本方針 5【学びを支える教育環境の整備】

32 学校、社会教育施設及び学校給食施設の計画的な対応	44
38 防災や交通安全教育の充実	49

基本方針 6【学びを支える教育体制の整備】

40 学校力の向上	50
41 教員の負担軽減の取組み	52
43 ICT 環境の整備と情報セキュリティの確保	53

令和4年度実施事業における点検評価総評	54
---------------------	----

〈参考〉基本方針、施策一覧及び教育振興基本計画に基づく各種取組み一覧

四條畷市教育委員会の取組み

私たちを取り巻く社会は、人生100年時代の到来、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けた急速な技術革新、大規模災害や感染症の世界的大流行（パンデミック）といった未曾有の事態への対峙など、大きな転換期を迎えています。

このような中、国においては、令和5年6月に新たな教育振興基本計画を策定し、持続可能な社会の創り手の育成及び日本社会に根差したウェルビーイングの向上の2つをコンセプトに、両者の相互循環的な実現に向けた取組みが進められるよう教育政策を講じていく必要があると示されました。

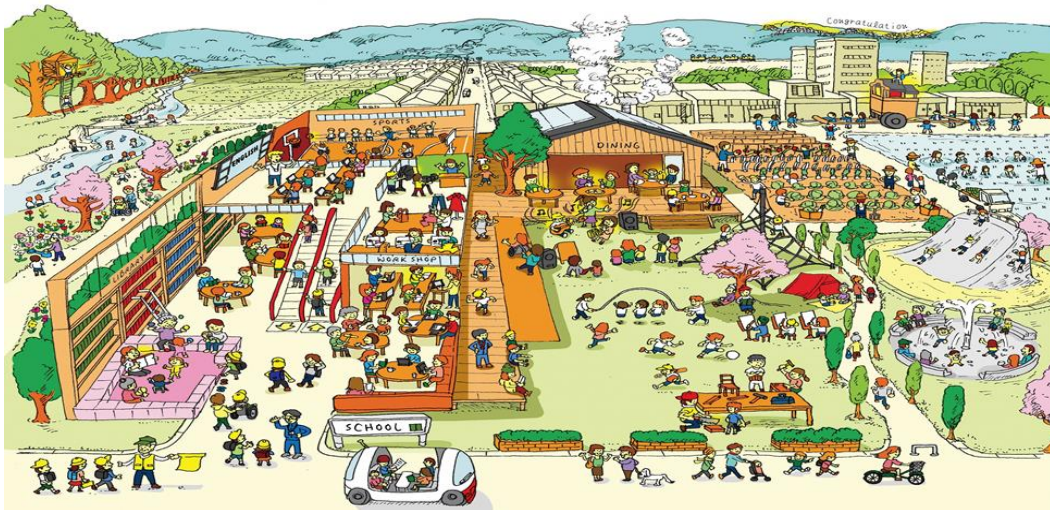
本市においても、これまでの教育振興ビジョンに基づく取組みのさらなる充実と発展に加え、将来を見据えた教育の長期的な展望を示し、本市が進むべき方向性を定めることを趣旨に、令和3年度に教育振興基本計画を新たに策定のうえ、計画に基づく各種の取組みを進めています。

また、教育委員会と市長部局がそれぞれの役割を理解しつつ、各分野における関連施策等を通じた相互連携、相互補完が重要であるとの認識から、それぞれに歩調を合わせ、関連施策の連携を図りながら教育施策を推進しています。

四條畷市教育振興基本計画

みんなの学びが叶うまち

～ 生涯 学び 夢 挑戦 ～



今後も独立した執行機関として、政治的中立性、継続性、安定性の確保、教育行政の多様な民意の反映、教育長及び事務局が執行する事務の評価点検という役割を担いつつ、本市教育の更なる推進に取り組んでまいります。

1 事務の点検・評価について

(1) 点検・評価の趣旨

- ① 教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組み状況について、点検及び評価を行い、課題や方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図ります。
- ② 点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市民への説明責任を果たすため、これを議会に提出するとともに公表します。

(参考法令) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象

「教育振興基本計画」(※)に基づき推進する施策、事業を対象に点検・評価を行います。

(※)「教育振興基本計画」 参考資料

令和4(2022)年度から令和17(2035)年度を計画期間に定め、将来を見据えた教育の展望を示し、本市が進むべき方向性を定めたもの。教育基本法第17条第2項に規定する計画として位置付けています。

(3) 点検・評価の実施方法

- ① 本市の点検・評価は、教育委員会が掲げる教育の理念、目標と各課が実施する事業の関連性を示すため、教育の総合的な計画に位置付ける教育振興基本計画の体系に基づき実施します。
- ② 点検・評価にあたり、客観性を確保するため、学識経験を有する方にも会議に出席いただき、そのご意見を参考とします。なお、学識経験を有する方にご

意見をいただく内容は、教育委員会で決定した主たる施策（以下、「主たる施策」という。）とします。

【学識経験者】

- ・千里金蘭大学 教育学部 教育学科 教授 島 善信 氏
- ・京都女子大学 発達教育学部 教育学科 教授 岩槻 知也 氏

(4) 点検評価シートの見かた

① 体系

主たる施策に係る、教育振興基本計画に掲げる基本方針、施策及び施策の方向性を記載

② 分野別計画等

関連する分野別計画やアクションプラン等を記載

③ 事業及び事業概要

令和4年度に実施した主な施策や事業とその概要を記載

④ 活動実績

主な施策や事業に対する、実施内容や活動状況を記載

⑤ 成果指標

主な施策や事業の成果・効果等を測定するに相応しい指標を、分野別計画等に掲げる指標や各種アンケートの結果等を活用して記載

⑥ 評価(※)

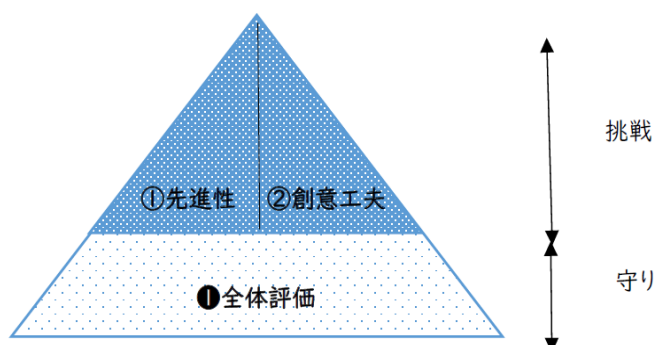
主たる施策について、4段階で全体評価を行い、先進性及び創意工夫の要素を加えた評価を記載

⑦ 振返りと評価の説明

主たる施策の令和4年度施策や事業の振返りと評価の理由について記載

【※評価の方法】

主たる施策に関する評価



①全体評価

(順調 4点、概ね順調 3点、
やや課題あり2点、課題あり 1点)

①先進性

(躍進的 +2点、前進 +1点)

②創意工夫

(躍進的 +2点、前進 +1点)

総合評価	合計点
S	8点
A	5点~7点
B	2点~4点
C	1点

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員

役職名	氏名
教育長	植田 篤司
教育長職務代理者	山本 博資
委員	佃 千春
委員	河田 文
委員	尾崎 靖二

(令和4年4月1日現在)

(2) 教育委員会の役割

平成27年4月1日から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正による新教育委員会制度では、地方教育行政における首長の責任がより明確になることによって、首長のもとで教育施策を進める体制ができ、教育長の任免、教

育に関する大綱の作成、総合教育会議における協議などを行うことができるようになりました。

法改正により、教育行政の責任者としての教育長のリーダーシップが高まりますが、教育長以外の非常勤の委員で構成する教育委員会において、意思決定を多数決で行う仕組みは、従来どおりとなります。

これからも、教育委員会は、執行機関として、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保、教育行政への多様な民意の反映、教育長及び事務局が執行する事務の評価、監視という重要な役割を担ってまいります。

(3) 教育委員会の開催状況

原則として、毎月1回「教育委員会定例会」を開催するとともに、必要に応じ、「臨時会」を開催しています。

開催年月日	案 件 名	議 決 等
令和4年4月20日 (定例会)	四條畷市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
	四條畷市立学校夏季休業日における学校閉庁日の実施について	可 決
	四條畷市いじめ問題対策委員会の委員の委嘱について	報 告
	四條畷市スポーツ推進委員の委嘱について	報 告
	四條畷市青少年指導員の委嘱について	報 告
令和4年5月23日 (定例会)	四條畷市いじめ問題対策委員会規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
	四條畷市立学校教科用図書選定委員会規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
	四條畷市社会教育委員の委嘱について	可 決
	四條畷市立図書館協議会委員の任命について	可 決
	四條畷市立小学校及び中学校における教育指導の計画の報告について	報 告
	四條畷市飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会委員の委嘱について	報 告
令和4年6月29日 (定例会)	令和5年度使用四條畷市立小中学校教科用図書の採択について	可 決

令和4年6月29日 (定例会)	四條畷市立学校結核対策検討委員会委員の委嘱について	報告
	令和4年度一般会計補正予算(第2号)に対する意見の申し出について	報告
令和4年7月27日 (定例会)	教育委員会事務局職員の処分について	可決
令和4年8月31日 (定例会)	令和5年4月以降の四條畷市立四條畷東小学校跡地施設の暫定使用について	可決
令和4年9月28日 (定例会)	四條畷市学校施設整備方針の策定について	可決
	令和4年度一般会計補正予算(第4号)に対する意見の申し出について	報告
	四條畷市教育委員会における公の施設に係る指定管理候補者の選定結果について	報告
令和4年10月26日 (定例会)	令和3年度四條畷市教育委員会点検・評価について	可決
	四條畷市学校施設修繕計画の改訂について	可決
	令和5年度当初予算要求に盛り込む施策、事業について	可決
	令和4年度一般会計補正予算(第5号)に対する意見の申し出について	報告
令和4年11月30日 (定例会)	四條畷市立市民活動センターの管理・運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
	四條畷市立学校給食センター施設・設備等修繕計画の策定について	可決
	四條畷市立市民活動センター修繕計画の策定について	可決
	四條畷市立市民総合体育館修繕計画の策定について	可決
	四條畷市文化財保護審議会委員の委嘱について	報告
	社会教育施設の管理運営に関する評価結果(令和3年度分)について	報告
	令和4年度四條畷市体育・文化奨励賞の受賞者について	報告
	令和4年度一般会計補正予算(第6号)に対する意見の申し出について	報告
令和4年12月28日 (定例会)	四條畷市教育委員会における公の施設に係る指定管理者の指定について	報告
	令和4年度教育委員会事務局職員人事について	報告
令和5年1月18日 (定例会)	四條畷市立学校給食センター施設・設備等修繕計画の改訂について	可決

令和5年1月18日 (定例会)	令和5年度全国学力・学習状況調査の参加及び協力について	報告
令和5年2月8日 (定例会)	令和5年度教育委員会事務局職員人事の臨時代理について	可決
	四條畷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例に対する意見の申し出について	可決
	財産の取得に対する意見の申し出の臨時代理について	可決
	令和5年度一般会計予算に対する意見の申し出について	可決
	令和5年度学校管理職人事の内申について	可決
令和5年3月29日 (定例会)	四條畷市立図書館処務規則等の一部を改正する規則の制定について	可決
	四條畷市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決
	四條畷市個人情報保護条例の施行に関する四條畷市教育委員会規程の廃止に関する規程の制定について	可決
	四條畷市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の施行に関する四條畷市教育委員会規程の制定について	可決
	四條畷市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
	四條畷市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
	財産の取得に対する意見の申し出について	可決
	令和5年度教育委員会事務局職員人事について	報告
	令和4年度一般会計補正予算(第7号)に対する意見の申し出について	報告
	四條畷市立なわてふれあい教室条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	報告

(4) 教育委員の主な研修及び活動

① 教育委員

令和4年5月16日	令和4年度大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会に参加
令和4年11月1日	令和4年度近畿市町村教育委員会研修大会に参加
令和4年12月23日	令和4年度市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会に参加
令和5年1月23日	令和4年度北河内地区教育委員会委員研修会に参加
令和5年1月30日	令和4年度大阪府市町村教育委員会研修会(オンライン)に参加

令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部イベント等が自粛となった。

② 教育長

令和4年4月6日	令和4年度市町村教育委員会教育長会議に参加
令和4年4月15日	令和4年度大阪府都市教育長協議会総会・4月定例会に参加
令和4年4月21日	令和4年度第1回北河内地区教育長協議会及び北河内地区人事協議会に参加
令和4年4月27日	令和4年度近畿都市教育長協議会定期総会に参加
令和4年5月10日	令和3年度大阪府都市教育委員会連絡協議会定期監査及び第3回役員会に参加
令和4年5月12日 ～13日	令和4年度全国都市教育長協議会定期総会に参加
令和4年5月16日	令和4年度大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会に参加
令和4年5月25日	第67回全国市町村教育委員会連合会定期総会に参加
令和4年6月1日	令和4年度近畿市町村教育委員会連絡協議会第1回定期会長・事務局長合同会議(オンライン)に参加

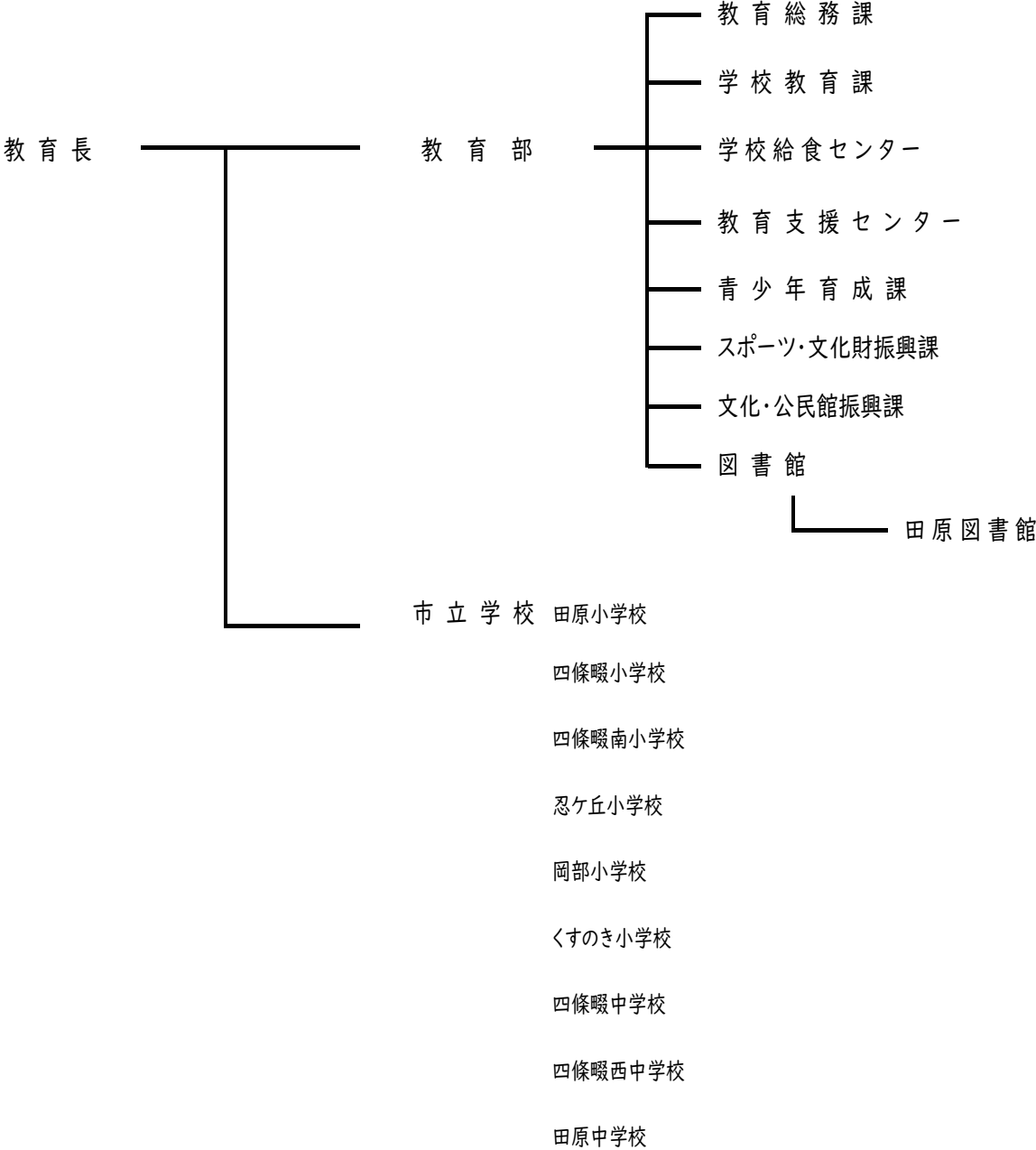
令和4年7月7日	令和4年度第2回北河内地区教育長協議会及び北河内地区人事協議会に参加
令和4年7月8日	令和4年度全国市町村教育委員会連合会第1回副会長会議及び第2回常任理事・理事会に参加
令和4年7月29日	令和4年度大阪府都市教育長協議会夏季研修会(1日目)に参加
令和4年8月26日	令和4年度大阪府都市教育長協議会夏季研修会(2日目)及び定例会に参加
令和4年10月7日	令和4年度大阪府都市教育長協議会10月定例会に参加
令和4年10月13日	令和4年度全国市町村教育委員会連合会第3回常任理事・理事会に参加
令和4年11月1日	令和4年度近畿市町村教育委員会連絡協議会第2回定期会長・事務局長合同会議及び令和4年度近畿市町村教育委員会研修大会に参加
令和4年11月4日	令和4年度大阪府都市教育長協議会秋季研修会に参加
令和4年11月9日	令和4年度北河内地区教育長協議会研修会(オンライン)に参加
令和4年12月23日	令和4年度市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会に参加
令和5年1月9日	令和5年二十歳の集いに参加
令和5年1月20日	令和4年度大阪府都市教育長協議会1月定例会に参加
令和5年1月23日	令和4年度北河内地区教育委員会委員研修会に参加
令和5年1月24日	令和4年度第3回北河内地区教育長協議会及び北河内地区人事協議会に参加
令和5年1月30日	令和4年度大阪府市町村教育委員会研修会に参加
令和5年1月31日	令和4年度第4回北河内地区教育長協議会及び北河内地区人事協議会に参加
令和5年2月3日	令和4年度全国市町村教育委員会連合会第2回副会長会議に参加

令和5年2月6日	令和4年度市町村教育委員会教育長・学校教育主管課長会議
----------	-----------------------------

その他 市及び社会教育団体等主催のイベントに出席

なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部イベント等が自粛となった。

教育委員会組織図（令和4年4月1日現在）



点検評価シート

基本方針I【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】

体系	基本方針	I 主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進																							
	施策	確かな学力の育成 豊かな心の醸成 健やかな体の育成																							
	施策の方向性	I 乳幼児期から小中学校への円滑な接続と連携の推進																							
分野別計画等	乳幼児教育保育アクションプラン、第2期子ども・子育て支援事業計画																								
事業I	市支援教育リーディングチーム（通級指導教室担当者、支援学校地域支援コーディネーター、市教育委員会支援教育担当指導主事）による就学前施設の巡回相談																								
事業概要	就学前の子どもたちを中心に多面的、多角的な実態把握を行い、助言や協議の内容を今後の早期支援、指導に活かすために、市の支援教育リーディングチームによる就学前施設の巡回相談を行った。																								
活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リーディング チーム数(人)</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>就学前施設 (回)</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>小中学校巡回 (回)</td> <td>24</td> <td>28</td> <td>61</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>						令和 元年度	2年度	3年度	4年度	リーディング チーム数(人)	9	11	12	13	就学前施設 (回)	12	12	11	10	小中学校巡回 (回)	24	28	61	36
	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																					
リーディング チーム数(人)	9	11	12	13																					
就学前施設 (回)	12	12	11	10																					
小中学校巡回 (回)	24	28	61	36																					
事業2	就学相談（学校見学の実施・つながりシートの作成）																								
事業概要	新小学1年生となる園児で、心身の発達に心配や不安があり、学校生活において教育的な配慮を必要としている園児の保護者を対象に就学相談を行った。また、関係機関等を含む専門的な子育て支援を行う部署との繋がりを保護者が学校と共有するためのシートの作成を保護者に依頼し、子どもへの適切な支援に繋げた。																								
活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小に引き継いだ 人数(つながりシ ート)</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数(人)</td> <td>69</td> <td>75</td> <td>58</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table>					小に引き継いだ 人数(つながりシ ート)	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	人数(人)	69	75	58	68										
小に引き継いだ 人数(つながりシ ート)	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																					
人数(人)	69	75	58	68																					

基本方針1【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】

成果指標	<p>※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等（過去5年程度）</p> <p>全国学力・学習状況調査（観点「知識・技能」の正答率）の全国平均正答率を1とした時の割合※2教科総合（単位：%）</p> <table border="1" data-bbox="448 349 1318 566"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>96.3</td> <td>89.5</td> <td>—</td> <td>94.5</td> <td>92.1</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>95.4</td> <td>94.3</td> <td>—</td> <td>97.2</td> <td>91.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>（出典：全国学力・学習状況調査）</p> <p>※リーディングチームによる小1巡回や支援教育研修等を通して、支援教育の観点を取り入れた授業づくりを推進し、みんなが「わかる・できる」の実感が学力の定着につながるものとして、上記指標を位置付けた。</p>						平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	小学校	96.3	89.5	—	94.5	92.1	中学校	95.4	94.3	—	97.2	91.1
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																		
小学校	96.3	89.5	—	94.5	92.1																		
中学校	95.4	94.3	—	97.2	91.1																		
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり																					
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進																					
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進																					
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C																					
振り返りと評価の説明	<p>リーディングチームによる就学前施設及び小1巡回を通して、各保幼小中及び保護者が、就学前からの様子を共有し、関係機関連携を図ることで、保護者の願いや思い、家庭での様子、就学前からの接し方の工夫等を知ることができ、子どもたちが安心して学校生活を送ることができた。</p> <p>また、会議や研修などを通して、子ども理解、支援教育の観点を取り入れた指導の工夫を知り、連携を深めることができたので、総合評価をAとした。</p>																						
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・支援教育のリーディングチームの専門性の向上 ・就学前保護者への就学相談及び学校見学会等、小学校の教育活動の内容や学びの場の様子がわかるような情報提供 ・市内各課や関係機関と連携し、子どもの実態に応じた適切な学びの場（通常学級、通級指導教室、支援学級、支援学校等）について理解を深めるために、支援教育担当者から積極的に情報提供 																						

基本方針1【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】

体系	基本方針	1 主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進																				
	施策	確かな学力の育成																				
	施策の方向性	2 情報活用能力の育成と習熟度に応じた学習支援の強化																				
分野別計画等	まなびのプラン、市立小中学校における ICT 利活用計画																					
事業1	学力向上対策プロジェクトチーム会議および情報教育担当者会議の開催																					
事業概要	情報教育担当者が集まり、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をめざし、学習者用タブレットPCを活用した校内の情報教育推進にかかる取組みについて情報共有、実践交流及び意見交換、講師招聘により新たなスキルについて学習等実施した。																					
活動実績	<p>①学力向上担当者会の実施(年8回)</p> <p>大阪府教育庁の事業「確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校」の加配配置校にて開催した公開授業研究(年2回)に参加し、授業改善の視点や組織的な取組みの報告を共有し、自校の実践に役立てることができた。</p> <p>②情報教育担当者会の実施(年2回)</p> <p>うち1回を、学力向上対策プロジェクトチーム会議に参加し、情報教育を活用した子ども主体の授業づくりにつなぐ観点で、実践交流したことで、指導の工夫、協働的な学びにつながる活動内容が普及した。</p>																					
事業2	学習指導員、学生ボランティアの配置																					
事業概要	授業中や放課後のきめ細かな学習支援のために小中学校に学習指導員、学生ボランティアを配置した。																					
活動実績	<p>学習指導員および学生ボランティアの小中学校における年間配置時間数 (単位:時間)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習指導員</td> <td>1,679</td> <td>1,943</td> <td>2,442</td> </tr> <tr> <td>学生ボランティア</td> <td>326</td> <td>437</td> <td>633</td> </tr> </tbody> </table>					令和2年度	3年度	4年度	学習指導員	1,679	1,943	2,442	学生ボランティア	326	437	633						
	令和2年度	3年度	4年度																			
学習指導員	1,679	1,943	2,442																			
学生ボランティア	326	437	633																			
成果指標	<p>※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)</p> <p>全国学力・学習状況調査(観点「知識・技能」の正答率)の全国平均正答率を1とした時の割合※2教科総合 (単位:%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>96.3</td> <td>89.5</td> <td>—</td> <td>94.5</td> <td>92.1</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>95.4</td> <td>94.3</td> <td>—</td> <td>97.2</td> <td>91.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典:全国学力・学習状況調査)</p>					平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	小学校	96.3	89.5	—	94.5	92.1	中学校	95.4	94.3	—	97.2	91.1
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																	
小学校	96.3	89.5	—	94.5	92.1																	
中学校	95.4	94.3	—	97.2	91.1																	

基本方針I【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】

評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
振り返りと評価の説明	<p>事業成果が直接的に反映されることの困難さ、教職員間のICT活用の知識およびスキルの差、授業での効果的な活用に課題があるものの、「SAMR MODEL (タブレット PC の活用段階を4つに分けて示したモデル)」に基づいた段階的な活用及びICT利活用計画に基づいた活用の推進は一定なされてきたと認識している。また、学習指導員、学生ボランティアの配置については、児童生徒へのきめ細かな指導支援や安心感につながり、学力向上の取組みとして大きく寄与していると考え。</p> <p>このような現状を踏まえ、SAMR MODELの共有や段階的な活用状況の充実等一定の先進性、そして、協働的な学びの視点での学習者用タブレット PC の活用等に創意工夫を凝らした取組みが進められたが、教員間の活用スキルの差等を鑑み、総合評価をBとした。</p>	
今後の課題等	<p>今後、学習指導要領に基づいた授業改善をはじめ、ICTの効果的な利活用がより推進されるよう、担当者を育成し、校内研修の充実、利活用計画に基づいて、成果と課題を整理し次への取組みにつなぐPDCAサイクルの実行が必須。学習指導員や学生ボランティアをより積極的に活用できるよう予算・人材を継続的に確保していく必要がある。</p>	

基本方針I【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】

体系	基本方針	I 主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進																					
	施策	確かな学力の育成																					
	施策の方向性	4 ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実																					
分野別計画等	まなびのプラン、市立小中学校におけるICT利活用計画																						
事業I	学習者用タブレットPCへのAI型ドリルの導入																						
事業概要	学習者用タブレットPCへAI型ドリルを導入し、単元の復習や学年を越えての利用、家庭学習の推進を図った。																						
活動実績	<p>情報教育担当者の育成および校内研修の実施</p> <p>① 担当者育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策プロジェクトチーム会議への参加(合同開催) ・情報教育担当者会の実施(令和3年度:2回、令和4年度:1回) <p>② 講師を招聘したAI型ドリル導入研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校全9校にて実施 																						
成果指標	<p>※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)</p> <p>全国学力・学習状況調査(観点「知識・技能」の正答率)の全国平均正答率を1とした時の割合※2教科総合 (単位:%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>96.3</td> <td>89.5</td> <td>—</td> <td>94.5</td> <td>92.1</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>95.4</td> <td>94.3</td> <td>—</td> <td>97.2</td> <td>91.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典:全国学力・学習状況調査)</p>						平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	小学校	96.3	89.5	—	94.5	92.1	中学校	95.4	94.3	—	97.2	91.1
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																		
小学校	96.3	89.5	—	94.5	92.1																		
中学校	95.4	94.3	—	97.2	91.1																		
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり																					
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進																					
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進																					
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C																					
振り返りと評価の説明	AI型ドリルの導入は9月以降。初年度として、全校において授業での活用および授業時間外での子どもの自主的な活用、そして家庭学習での活用が見られたことは事業が前進したととらえている。このことから施策のめざす「個別最適な学びの実現」に近づいたと判断できるが、新しい指導要領で示されている「協働的な学びの実現」に関してはもう少し活用が必要と考え、総合評価をBとした。																						
今後の課題等	今後、子どもたちの個別最適な学びの実現、そして自律的に学ぼうとする気持ちや態度を育むために、教職員の知識およびスキルの向上や、家庭での活用も進むよう家庭と連携した取組みが必須となる。情報教育担当者を育成し、各校での研修や取組みを充実させていくことをめざす。																						

基本方針1【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】

体系	基本方針	1 主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進																																							
	施策	健やかな体の育成																																							
	施策の方向性	10 体力向上の取組み																																							
分野別計画等																																									
事業1	小学校水泳授業の業務委託																																								
事業概要	専門家の指導による児童の泳力向上や、教職員の働き方改革の観点から、プールに係る負担軽減を図った。																																								
活動実績	四條畷小学校(8~12月)及び四條畷南小学校(6~7月)の水泳授業を民間プールで行い、1人につき1回当たり60分の授業を4回行った。実施計画を子どもの実態に応じて話し合っ立て、評価は教職員で行った。																																								
事業2	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の実施																																								
事業概要	調査結果を基に分析を行い、学校における体育、健康に関する指導などの改善を図るための指導・助言を行った。																																								
活動実績	計画的で安全な体育指導の展開及び体力向上につながる授業づくりを実施するために、前年度の調査結果をもとに、各校の課題や取組みと検証のための指標を明確にし、体力づくりアクションプランを作成するよう指導・助言を行い、子どもたちの体力向上につながった。																																								
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていると答えた児童生徒の割合 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>73.2</td> <td>79.7</td> <td>—</td> <td>78.8</td> <td>75.7</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>77.6</td> <td>77.4</td> <td>—</td> <td>76.4</td> <td>77.5</td> </tr> </tbody> </table> (出典:全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙) 毎日、同じくらいの時刻に起きていると答えた児童生徒の割合 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>86.2</td> <td>91.2</td> <td>—</td> <td>88.1</td> <td>87.3</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>89.7</td> <td>92.4</td> <td>—</td> <td>90.7</td> <td>92.0</td> </tr> </tbody> </table> (出典:全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙)						平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	小学校	73.2	79.7	—	78.8	75.7	中学校	77.6	77.4	—	76.4	77.5		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	小学校	86.2	91.2	—	88.1	87.3	中学校	89.7	92.4	—	90.7	92.0
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																																				
小学校	73.2	79.7	—	78.8	75.7																																				
中学校	77.6	77.4	—	76.4	77.5																																				
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																																				
小学校	86.2	91.2	—	88.1	87.3																																				
中学校	89.7	92.4	—	90.7	92.0																																				
評価	全体評価	■順調 □概ね順調 □やや課題あり □課題あり																																							
	先進性	■躍進的 □前進																																							
	創意工夫	□躍進的 ■前進																																							
	総合評価	□S ■A □B □C																																							
振り返りと評価の説明	全国体力・運動能力、運動習慣等調査を活用し、授業改善におけたPDCAサイクルが確立されてきた。また、全小中学校が体力づくりアクションプランを作成し、各校の課題、取組み、評価基準を整理し、子どもたちの体力向上につ																																								

基本方針1【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】

	<p>なげることができた。運動が好きと答えた男子の児童生徒が増加したことから、健康な体を維持するために、適度な運動や体力が必要であることの理解が深まるとともに、子どもたちが保健や体育等の授業を楽しんで受けることができるような授業改善が進んだと推察している。以上のことから総合評価を A とした。</p>
<p>今後の課題等</p>	<p>泳力向上に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2年間水泳指導が実施できていなかったため、令和5年度に他校の泳力と比較し、今後の指導内容や体制について、検討していきたい。</p>

基本方針1【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】

体系	基本方針	I 主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進				
	施策	健やかな体の育成				
	施策の方向性	II 学校給食を通じた食育の推進				
分野別計画等	第3次四條畷市食育推進計画					
事業1	学校給食センター見学事業(小学生)					
事業概要	学校生活における給食への理解を深めるとともに、食の大切さを学ぶために学校給食センターでの見学を実施した。					
活動実績	学校給食センター施設見学の実施状況 ※○に数字は学年を示す					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	学校	田原小① 畷小① 東小① 南小① 忍小① 岡部小① 支援学校 中等部①	田原小① 畷小① 東小① 南小① 岡部小① 支援学校 中等部① ③	田原小①	田原小① 畷小② 岡部小②	田原小① 畷小①② 岡部小① ②
事業2	栄養士による食育授業					
事業概要	学校生活における給食への理解を深めるとともに、食の大切さを学ぶために食育授業を実施した。					
活動実績	栄養士による食育教育の実施状況 ※○に数字は学年を示す					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	学校	東小(全 校集会)	東小(全 校集会)	忍小①	忍小①~⑥ 西中①	忍小①~⑥ 南小⑤
事業3	学校給食の試食会					
事業概要	児童生徒の学校生活における給食への理解を深め、より身近に感じていただくために学校給食の試食会を実施した。					

基本方針1【主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進】

活動実績	学校給食試食会の実施状況					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
各学校 PTA	田原小 暇小 東小 南小 忍小 くすのき小 岡部小 支援学校	田原小 暇小 東小 南小 忍小 くすのき小 岡部小 支援学校	実施なし	実施なし	くすのき小 岡部小	
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)					
	朝食を毎日食べていると答えた児童生徒の割合 (単位:%)					
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	
小学校	88.8	93.4	-	90.7	91.1	
中学校	90.4	89.4	-	89.4	89.6	
(出典:全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙)						
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり				
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進				
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進				
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C				
振り返りと評価の説明	学校給食センターにおける衛生管理をはじめとして、地場産食材の使用等について説明をすることで、学校給食の安心安全について理解を得られたと考え、総合評価をAとした。					
今後の課題等	コロナ禍による見学等の中止が続いたことにより、現在においては、実施を希望する学校数が増えていないため、呼びかけを行っていく。					

基本方針2【個を認め、寄り添い、活かす教育の推進】

体系	基本方針	2 個を認め、寄り添い、活かす教育の推進			
	施策	多様なニーズに即した教育の提供 ライフステージに応じた継続的な支援の充実			
	施策の方向性	13 個の状況に応じた必要な支援の提供			
分野別計画等	まなびのプラン				
事業1	通級指導教室の全校配置及び個に応じた支援体制の充実				
事業概要	令和4年度から全校で自校通級ができる環境を整え、子どもの実態に応じた学びの場の整備ができ、目標に合った学習内容の提供やきめ細かい指導の充実を図った。また、各小中学校に介助員・学校支援員を配置した。				
活動実績	・教育的ニーズに応えられる学びの場として、通級指導教室を設置				
	・各小中学校に介助員・学校支援員を配置 (単位:室又は人)				
		令和 元年度	2 年度	3 年度	4 年度
	通級指導教室数 (利用者数)	7(136)	8(152)	8(142)	9(153)
	介助員	24	21	22	26
学校支援員	10	10	10	10	
※介助員は、支援学級在籍・通級指導教室入室の児童生徒の学習及び学校生活を支援する人員					
※学校支援員は、学校運営全般に渡り、学校を支援する人員。主に支援学級のサポートで活用している学校が多い。					
事業2	支援教育リーディングチームによる各小中学校への訪問相談				
事業概要	支援教育リーディングチーム(通級指導教室担当者、支援学校地域支援コーディネーター、市教育委員会支援教育担当指導主事)が各小中学校へ巡回(訪問)して、児童生徒のアセスメント(児童生徒に関する学習、生活、子どもとの関係、家庭等の状況等の情報)及び支援指導に関する助言を行い、各校での支援教育の体制整備を行った。				
活動実績	(単位:回)				
		令和 元年度	2 年度	3 年度	4 年度
	訪問回数	14(6校)	19(5校)	52(6校)	27(9校)

基本方針2【個を認め、寄り添い、活かす教育の推進】

成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等（過去5年程度） 支援教育の観点から、指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など） を行ったと答えた教職員の肯定的回答の割合（単位：%） <table border="1" data-bbox="451 349 1315 546"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>93.4</td> <td>94.4</td> <td>95.2</td> <td>91.0</td> <td>93.7</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>82.7</td> <td>92.1</td> <td>92.9</td> <td>94.4</td> <td>92.5</td> </tr> </tbody> </table> （出典：児童生徒・教職員アンケート）						平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	小学校	93.4	94.4	95.2	91.0	93.7	中学校	82.7	92.1	92.9	94.4	92.5
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																		
小学校	93.4	94.4	95.2	91.0	93.7																		
中学校	82.7	92.1	92.9	94.4	92.5																		
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり																					
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進																					
	創意工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 躍進的 <input type="checkbox"/> 前進																					
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C																					
振り返りと評価の説明	<p>個を認め、寄り添い、活かす教育の推進ができるよう、全校で自校通級ができる環境が整ったことで、多様な教育的ニーズに応えるための支援体制整備が進み、きめ細かい指導の充実が図れた。また、各小中学校に介助員・学校支援員を配置し子どもが安心して学習できる環境を整えることができた。</p> <p>また、リーディングチームによる巡回（訪問）相談を実施し、専門的な視点での助言により、各校での指導の工夫や授業改善、環境整備につながった。巡回を行う教員についても、適切な個別支援の方法や指導の工夫等自身の専門性を高めることにつなげることができたため、総合評価をAとした。</p>																						
今後の課題等	<p>令和4年4月の国の通知をうけ、通常の学級で学びながら、困り感をもつ児童生徒への合理的配慮や基礎的環境整備の充実が喫緊の課題である。学校支援員等、人的な環境整備についても引き続き事業拡充等検討が必要とを感じる。</p> <p>通級指導教室増設にともない、今後経験の浅い担当教員が増えることが予想される。担当教員の専門性や指導力の向上のため、今後もリーディングチームが活動しながら、それぞれ実践や研究を重ね、教職員が互いに学べるような機会を作っていく必要がある。</p>																						

基本方針2【個を認め、寄り添い、活かす教育の推進】

体系	基本方針	2 個を認め、寄り添い、活かす教育の推進																																														
	施策	ライフステージに応じた継続的な支援の充実 多様なニーズに即した教育の提供																																														
	施策の方向性	17 識字施策の推進																																														
分野別計画等	識字施策推進指針、第3次識字基本計画																																															
事業1	市にほんご教室及び日本文化の体験・交流事業の開催																																															
事業概要	<p>非識字者や外国人など日本語のよみ・かき・ことばがでげずに日常生活に支障をきたしている人を対象に学習支援を行う。毎週の学習の他、日本文化体験や交流、情報提供などの学習外イベントの開催、相談対応を実施した。</p> <p>木曜：午前 10 時 30 分～12 時、金曜：午後 6 時 30 分～8 時（金曜はキッズ教室あり）</p>																																															
活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>91</td> <td>82</td> <td>42</td> <td>55</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>延べ学習者数(人)</td> <td>672</td> <td>783</td> <td>166</td> <td>267</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>学習登録者数(人)</td> <td>71</td> <td>81</td> <td>26</td> <td>18</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>浴衣 de 盆踊り 参加者数(人)</td> <td>約50</td> <td>約40</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>国際交流わくわくパー ティー参加者数(人)</td> <td>約60</td> <td>約80</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>お花見体験 参加者数(人)</td> <td>41</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>							平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	開催回数(回)	91	82	42	55	90	延べ学習者数(人)	672	783	166	267	500	学習登録者数(人)	71	81	26	18	39	浴衣 de 盆踊り 参加者数(人)	約50	約40	中止	中止	中止	国際交流わくわくパー ティー参加者数(人)	約60	約80	中止	中止	中止	お花見体験 参加者数(人)	41	中止	中止	中止	中止
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																																											
開催回数(回)	91	82	42	55	90																																											
延べ学習者数(人)	672	783	166	267	500																																											
学習登録者数(人)	71	81	26	18	39																																											
浴衣 de 盆踊り 参加者数(人)	約50	約40	中止	中止	中止																																											
国際交流わくわくパー ティー参加者数(人)	約60	約80	中止	中止	中止																																											
お花見体験 参加者数(人)	41	中止	中止	中止	中止																																											
事業2	北河内識字日本語交流会への参画																																															
事業概要	<p>北河内7市が輪番で交流会を開催し、さまざまな学習体験や学習成果の発表を通じ、学習者同士での情報交換をして相互に学習意欲を高めるなどの場を設けている。</p>																																															
活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>四條畷市からの北河内識字日本語交流会参加者数(人)</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>							平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	四條畷市からの北河内識字日本語交流会参加者数(人)	20	13	—	—	32																														
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																																											
四條畷市からの北河内識字日本語交流会参加者数(人)	20	13	—	—	32																																											
事業3	みんなきてや学級への補助																																															
事業概要	<p>知的、身体的に障がいのある人などを対象に開催している民設民営の識字教室への活動補助を実施した。</p>																																															

基本方針2【個を認め、寄り添い、活かす教育の推進】

活動実績		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	開催回数(回)	41	30	21	13	—
	延べ学習者数(人)	41	30	21	13	—
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)					
	【にほんご教室の開催回数及び学習者数】					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	開催回数(回)	91	82	42	55	90
	延べ学習者数(人)	672	783	166	267	500
	学習登録者数(人)	71	81	26	18	39
	(出典:事務局調査)					
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり				
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進				
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進				
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C				
振り返りと評価の説明	<p>新型コロナウイルス感染症の影響でにほんご教室を離れていた学習者が徐々に教室に戻ってこられるとともに新たな学習者も迎え、教室に活気があがった。日本語の学習のほか、個々に抱える生活に関する相談などにも随時対応した。しかしながら、みんなきてや学級の学習者が0人の状況が続いていることを鑑み、総合評価をBとした。</p>					
今後の課題等	<p>にほんご教室では学習支援者の高齢化が進んでいることから、ボランティア養成講座の実施により新たな学習支援者の確保が急務。また、コロナ禍において中止していたにほんご教室の各種イベントについては、外国にルーツのある住民に日本の文化に触れる機会を提供するとともに、地域とのつながりを作る契機とすべく、順次再開していく。</p> <p>みんなきてや学級ではこれまでの学習者が転居により不在となり、新たな学習希望者確保にむけた教室の周知が必要であるため、学級運営者との調整を進める。</p>					

基本方針2【個を認め、寄り添い、活かす教育の推進】

体系	基本方針	2 個を認め、寄り添い、活かす教育の推進		
	施策	ライフステージに応じた継続的な支援の充実 多様なニーズに即した教育の提示		
	施策の方向性	19 不登校児童生徒等への適切な支援		
分野別計画等	子ども・若者育成支援行動計画			
事業I	教育支援センターの機能拡充			
事業概要	SC・SSW・生徒指導主事・児童生徒支援Co・フリールームなわて相談員と連携、アウトリーチ型の不登校対策を実施した。			
活動実績	学級集団状況調査や学校生活アンケート・いじめアンケートの実施、個別相談カード一覧表の作成により、児童生徒のきめ細かな実態把握をした。また、教職員・フリールームなわて相談員・SC・SSWなどを対象とした研修（教育相談Co育成研修、教育相談交流会、児童生徒や保護者への対応の在り方の研修など）を実施し、不登校児童生徒への支援や保護者対応、学校との連携を進めている。			
	【不登校児童生徒数】 (単位:人)			
		令和 2年度	3年度	4年度
	小学校	40	41	70
中学校	75	93	99	
※病気等の理由を除く、年間30日以上欠席者数				
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)			
	【教育相談室における不登校の相談件数】 (単位:件)			
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度
	284	409	423	361
(出典:四條畷市教育支援センター「フリールームなわて」での集約)				
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり		
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進		
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進		
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		
振り返りと評価の説明	教育相談室における不登校の相談件数が増えていることから、児童生徒や保護者への支援が進んできたにとらえている。研修や連携会議等の積み重ねから構築されてきた相談体制によるものだと考える。しかし、コロナ禍で家で過ごすことが多くなったことや、長期欠席を余儀なくされたことも影響し、不登校児童生徒数は増加傾向にあり、不登校の状況は厳しくなっていることをふまえ、総合評価をBとした。			

基本方針2【個を認め、寄り添い、活かす教育の推進】

今後の課題等	不登校児童生徒等へ適切な支援ができるように、研修や連携会議を継続して取り組んでいるが、参加メンバーに偏りがある。ミドルリーダー世代の教職員の参加など、今より多くの教職員に学びの機会をつくっていくことが必要だと考える。また、不登校児童生徒に学校や専門機関がつながりにくいケースも増えているため、児童生徒の現状やニーズに合わせた支援をしていくとともに、専門機関と学校がより連携し対応をしていく必要がある。
--------	--

基本方針3【地域の教育コミュニティづくりへの支援】

体系	基本方針	3 地域の教育コミュニティづくりへの支援
	施策	家庭・地域・学校の連携、協働の推進
	施策の方向性	20 地域とともにある学校づくり
分野別計画等		
事業1	学校運営協議会の設置	
事業概要	中学校区に学校運営協議会を設置し、学校運営の充実を図った。	
活動実績	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四條畷市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則制定 ・学校運営協議会設置におけた意見交換会開催 ・モデル校区として、四條畷中学校区で学校運営協議会設置・委員任命 <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規設置中学校区対象の設置におけた説明会開催 ・市内全中学校区で、学校運営協議会設置・委員任命 	
事業2	地域とともにある学校づくり推進のための研修	
事業概要	地域とともにある学校づくりのために、研修講師を招聘し研修を開催した。	
活動実績	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校づくり研修 2回 (守口市教育委員会指導主事、文部科学省 CS マイスターを講師として招聘) <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校づくり研修(市内管理職、教員、地域住民対象) ・各中学校区運営協議会主催の研修会開催 	
事業3	コミュニティ・スクール導入による、学校支援活動や学校の教育活動の充実	
事業概要	学校運営協議会が主体となり、地域学校協働活動を推進した。	
活動実績	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校区において、学校経営の承認、めざす子ども像についての熟議及び学校経営の評価を行った <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全中学校区において、学校経営の承認、めざす子ども像についての熟議及び学校経営の評価を行った ・モデル校区として先行した四條畷中学校区においては、地域住民等参加の清掃活動や、ボランティアによる授業支援活動を行う等、学校運営協議会が主体的に計画や提案を行い学校と連携しながら、地域学校協働活動が進められた 	

基本方針3【地域の教育コミュニティづくりへの支援】

成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等（過去5年程度） 保護者や地域の人との協働による取組みは、学校の教育水準の向上に効果があると答えた教職員の割合（単位：%）					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	小学校	85.7	85.7	－	83.4	66.7
	中学校	100	100	－	66.7	100
(出典：全国学力・学習状況調査 学校質問紙)						
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり				
	先進性	<input checked="" type="checkbox"/> 躍進的 <input type="checkbox"/> 前進				
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進				
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C				
振り返りと評価の説明	<p>モデル校区の取組みを参考にしながら、全中学校区において、コミュニティ・スクールが導入された。学校経営計画の目標達成におけ、学校が主体的に、学校運営協議会を活用し、教育活動の充実が図られた。</p> <p>また、モデル校区では、すでに地域とともに学校ニーズに即した、学校支援活動が行われているため、総合評価をAとした。</p>					
今後の課題等	<p>学校運営協議会の組織体制をより充実させていくためにも、引き続き研修の実施や市教育委員会として助言を行い、各中学校区においても、地域と学校が連携した教育活動充実の具体的な支援活動を推進していきたい。</p> <p>また、各中学校区で学校の実態に応じた、子どもたちのための支援活動に取り組んだりすることで、コミュニティ・スクールのよさや効果について学校管理職だけでなく教職員や、学校運営協議会委員以外の地域の方々へ広げていく必要がある。</p>					

基本方針3【地域の教育コミュニティづくりへの支援】

体系	基本方針	3 地域の教育コミュニティづくりへの支援				
	施策	安心・安全な施設等の段階的整備 持続的で魅力ある学校教育の推進				
	施策の方向性	21 部活動の地域との連携				
分野別計画等						
事業I	部活動指導員の配置					
事業概要	教職員の働き方改革推進及び部活動の機会確保のため、各中学校に部活動指導員を配置し、部活動に係る教職員の負担軽減を図るとともに、専門的な指導の充実を図った。					
活動実績	部活動指導員の配置実績(令和2年度からの事業)					
		令和 2年度	3年度	4年度		
	配置数 (人)	3	3	4		
配置 部活動	四條畷中 (ソフトボール部) 四條畷西中 (陸上部) 田原中 (バスケットボール部)	四條畷中 (ソフトボール部) 四條畷西中 (サッカー部) 田原中 (バスケットボール部)	四條畷中 (ソフトボール部) (バレーボール部) 四條畷西中 (サッカー部) 田原中 (剣道部)			
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)					
	保護者や地域の人との協働による取組みは、学校の教育水準の向上に効果があると答えた教職員の割合 (単位:%)					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	小学校	85.7	85.7	-	83.4	66.7
	中学校	100	100	-	66.7	100
(出典:全国学力・学習状況調査 学校質問紙)						
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり				
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進				
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進				
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C				
振り返りと評価の説明	<p>学校長と連携し、各校に部活動指導員を配置した。また、市のホームページ等の活用・他課や他の団体を通して、部活動指導員の人材確保に努めた。</p> <p>指導員の配置により、スポーツや文化に親しむ機会の確保ができ、教員の負担軽減により、授業準備等子どもに向き合う時間や心のゆとりができたため、総合評価をAとした。</p>					

基本方針3【地域の教育コミュニティづくりへの支援】

今後の課題等	学校ニーズに合わせた部活動指導員の人材確保のために、他課等との連携や地域への発信方法等を検討・改善、また、配置人材について、体罰等不祥事防止の観点で、教育の専門性を高めていく必要がある。
--------	---

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

体系	基本方針	4 豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援			
	施策	生涯を通じた学習活動の推進 生涯を豊かにする文化芸術・スポーツ活動の充実			
	施策の方向性	25 多様化、高度化する学習ニーズに応じた生涯学習の推進			
分野別計画等	第2次スポーツ推進計画、第2次公民館振興計画				
事業1	暇歩こう会、歩こう大会の開催				
事業概要	自然と触れ合いながら健康増進と参加者相互の交流を図るべく、毎月第2日曜日(10月は第3日曜日)に四條暇神社から飯盛山頂までのコースで実施した。11月の暇歩こう大会では、参加回数に応じて認定証及び記念盾等を授与した。				
活動実績	令和4年11月13日開催の「暇歩こう大会」では、小雨のため登山は中止し、参加回数に応じて認定証や記念盾等を88人に交付した。				
		令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	参加者(延べ)	1,153人	431人	510人	1,091人
	決算額 (単位:千円)	323	121	101	298
事業2	歴史民俗資料館自主事業の実施				
事業概要	市内の歴史遺産に関する生涯学習活動の学びの場として、「歩いて学ぶ考古学講座」、「小学校3学年と6学年の校外学習」、「夏休みイベント」、「博物館実習」など各種事業を実施した。				
活動実績		令和 3年度	4年度		
	歩いて学ぶ考古学講座 (年10回)	コロナ感染症のため中止	延べ304人		
	小学校3学年の校外学習	コロナ感染症のため中止	6校		
	小学校6学年の校外学習	コロナ感染症のため中止	1校		
	夏休みイベント(5種類)	コロナ感染症のため中止	61人		
	博物館実習(6日間)	延べ36人(3大学)	延べ60人(6大学)		
事業3	市民総合体育館自主事業の実施				
事業概要	市民がスポーツを始めるきっかけづくりなど、スポーツに接しやすい環境を整えるべく、平日の日中を中心として全年代を対象としたスポーツ教室を実施				

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

	した。				
活動実績	<p>コロナ禍により、各教室定員数を削減して開催した。また、市民対象の新たな大会の実施やハイレベルの大会を誘致してスポーツの楽しさを市民に伝えるなど、新型コロナウイルス感染症拡大状況に配慮しながら様々な取組みを行った。</p> <p>主な自主事業：卓球、ヨガ、バドミントン、テニス、ダンス教室</p> <p>新規事業：FILA CUP (テニス大会)、バドミントンジュニア交流会、 日本ハンドボールリーグ「湧永製薬」vs「大同特殊鋼 phenix」</p> <p>実施回数：885回 年間参加人数(延べ)：15,206人</p>				
事業4	大学等と連携した各種講座の開催				
事業概要	市民教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すべく、様々な講座やイベントを実施した。				
活動実績	【大学等との連携事業】				
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
1	ワンピース☆ みんなで宝 島へいこう (天理大 学)・20人 参加	来て・みて・遊 んで!2019☆ ワンピースの 夏(天理大 学)・17人 参加	官学連携講 座「盤双六 の歴史・平 安貴族の遊 び体験」(大 阪電気通信 大学)・9人 参加	官学連携講座 「中国語で読 む漢詩の世 界」(大阪電 気通信大学)・ 16人参加	官学連携講座・ 中国語で読む漢 詩講座「楊貴妃 の物語-詩から 見る君主の愛-」 (大阪電気通信 大学)・12人 参加
2		くらしの相続講 座(大阪弁護 士会)・22人 参加	ゼロからはじ めるスマホ 活用講座 (ソフトバン ク株式会 社)・27人 参加	展示ホール開 放デーにおけ る盤双六体験 コーナー運営 協力(大阪電 気通信大学)・ 45人参加	夏休みキッズラン ド「盤双六あそ び」(大阪電気通 信大学)・14人 参加
3		はじめてのス マホ体験講座 (ソフトバン ク株式会 社)・ 14人参加			スマートフォンの 使い方教室(奈 良先端科学技術 大学院大学)・ 235人参加

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

事業5	スマホ教室、パソコン基礎講習会の開催					
事業概要	デジタルデバイドの解消におけ、パソコン基礎講習会を開催した他、奈良先端科学技術大学院大学のスマートフォンアプリを用いた実証実験として、スマートフォンの使い方教室を開催した。					
活動実績	【パソコン基礎講習会】					
		平成 30年 度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	入門・応用講習会 受講者数(人)	52	39	19	23	25
	ワード・エクセル講 習受講者数(人)	22	29	23	15	-
	年賀状講習受講 者数(人)	11	13	13	8	9
	【スマートフォン使い方教室】					
	令和 4年度					
開催回数(回)	35					
延べ受講者数(人)	235					
事業6	各種講座のオンライン対応・ポケットWi-Fiの貸出					
事業概要	ライフスタイルや価値観の多様化に加え、コロナ禍による生活様式の変化等時代に対応するためポケットWi-Fiの貸出しによるインターネット活用など情報化の環境整備を図るとともに、対面以外の講座受講が可能となるようオンライン講座を実施した。					
活動実績	【ポケットWi-Fi貸出回数】					
		令和 3年度	4年度			
	貸出回数(回)	76	196			
	※令和3年6月から貸出開始					
	【オンライン講座の実施状況】					
		令和 3年度	4年度			
実施講座数(回)	2	1				

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等（過去5年程度）				
	①市民講座・文化サークルなどが充実していると答えた市民の割合 (単位:%)				
	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	
	肯定的割合	34.5	31.8	29.4	24.2
成果指標	②スポーツ活動やイベントが充実していると答えた市民の割合 (単位:%)				
	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	
	肯定的割合	—	—	—	16.3
	③これまで身につけた知識、技術、経験を仕事や地域、社会での活用に生か していると答えた市民の割合 (単位:%)				
令和 元年度	2年度	3年度	4年度		
肯定的割合	—	—	—	30.0	
(出典:市民意識調査)					
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり			
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進			
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進			
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C			
振り返りと評価 の説明	<p>【スポーツ及び文化財の分野】※事業1～3</p> <p>コロナ禍で事業の中止や参加者に減少はあったが、令和4年度は徐々に回復の傾向がみられた。</p> <p>【文化の分野】※事業4～6</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルスの影響による制約が徐々に緩和されたことに伴い、生涯学習活動が活発に展開された。</p> <p>特に、スマートフォン使い方教室では回を重ねるごとに参加者数が増加するとともに、参加した受講者同士それぞれで教え合いの輪が広がった。</p> <p>また、ポケットWi-Fi貸出により、オンラインでのサークル参加や会議の開催が可能となり、市民の利便性が向上している。</p> <p>【総括】</p> <p>参加者数の回復や各種事業の実施状況を踏まえ、総合評価をAとした。</p>				
今後の課題等	<p>【スポーツ及び文化財の分野】</p> <p>暇歩こう会、歩こう大会の運営委託先である四條畷市体育振興協議会の解散に伴い、事業委託先を令和5年度よりスポーツ全般に知見のある四條畷市立市民総合体育館に変更することとし、ボランティアスタッフの運営協力の</p>				

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

	<p>もと、さらなる安定運営をめざす。</p> <p>歴史民俗資料館自主事業に関しては、好評を得ている事業を継続していくとともに、小学校の校外学習については、資料館へ来館できない学校へは出前授業も検討していく。</p> <p>【文化の分野】</p> <p>さまざまな市民ニーズを捉え、従来の講座のみならず、大学等と連携を強化することで、大学等の専門的な見地から特色ある講座の実施に向けて検討を進める。</p>
--	---

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

体系	基本方針	4 豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援			
	施策	生涯を豊かにする文化芸術・スポーツ活動の推進			
	施策の方向性	27 ライフステージ、ライフサイクルにあわせて主体的に学び、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう、関係団体と連携した推進体制の充実			
分野別計画等	第2次スポーツ推進計画、第3次文化芸術振興計画				
事業1	スポーツフェスティバル2022～第66回市民体育祭～				
事業概要	<p>令和4年度から、市民総合体育館指定管理者への委託事業として実施した。企画・立案については、第66回市民体育祭企画運営委員会を設置し、市内の体育団体及び大阪電気通信大学の協力のもと、市民がスポーツを通じて健康増進と体力増強を図り、参加者相互の親睦を深めることを主旨に、インクルーシブ・競技スポーツ・生涯スポーツ・健康測定等を取り入れた。また、午前は運動会種目、午後は各種体験ブースを設置するなど内容をリニューアルし、スポーツフェスティバルとして開催した。</p> <p>【インクルーシブ】包括的（年齢、性別、障がいの有無等に関わらず、どなたでも参加いただける意味を含んでいる。）</p>				
活動実績		令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	参加人数 (延べ)	335人	-	-	1,351人
	決算額 (単位:千円)	441	-	-	795
<p>※令和2,3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。</p> <p>【実施種目】 午前:運動会種目 午後:各種体験会(バドミントン・バスケットボール・卓球・トランポリン・eスポーツ・モルック・ベンチプレス・幼児用わなげ・健康測定)</p>					
事業2	ニュースポーツ体験事業の実施				
事業概要	<p>スポーツ推進委員が中心となり、令和4年度は毎月第1・3土曜日を中心にレクリエーションスポーツ体験事業として、いつでも、どこでも、誰でも気軽に実施できるニュースポーツの普及事業を実施した。</p>				
活動実績		令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	回数(年)	20回	15回	12回	20回
	参加人数 (延べ)	130人	104人	43人	122人

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

	※令和2,3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部開催を中止した。																																								
事業3	市民文化祭の実施																																								
事業概要	四條畷市文化協会と連携のもと、地域文化の向上や創作活動の普及、促進に向けて、市民の文化芸術活動を発表する場として市民文化祭を開催。舞台出演の部、展示の部、ワークショップの部、模擬・バザーの部を開催した。																																								
活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舞台の部出演団体数(団体)</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>展示の部出品数(人)</td> <td>277</td> <td>172</td> <td>92</td> <td>89</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>ワークショップの部出店数(団体)</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>模擬・バザーの部出店数(団体)</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>市民文化祭来場者数(人)</td> <td>約2,000</td> <td>1,410</td> <td>281</td> <td>1,260</td> <td>1,827</td> </tr> </tbody> </table>						平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	舞台の部出演団体数(団体)	40	40	21	26	37	展示の部出品数(人)	277	172	92	89	92	ワークショップの部出店数(団体)	7	5	2	1	4	模擬・バザーの部出店数(団体)	9	9	-	3	6	市民文化祭来場者数(人)	約2,000	1,410	281	1,260	1,827
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																																				
舞台の部出演団体数(団体)	40	40	21	26	37																																				
展示の部出品数(人)	277	172	92	89	92																																				
ワークショップの部出店数(団体)	7	5	2	1	4																																				
模擬・バザーの部出店数(団体)	9	9	-	3	6																																				
市民文化祭来場者数(人)	約2,000	1,410	281	1,260	1,827																																				
事業4	コーラスフェスティバルの実施																																								
事業概要	四條畷市合唱連盟との連携のもと、合唱連盟加盟のコーラスグループが共演しコーラスフェスティバルを開催した。																																								
活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数(人)</td> <td>約717</td> <td>約500</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>228</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2,3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。</p>						平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	来場者数(人)	約717	約500	-	-	228																								
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度																																				
来場者数(人)	約717	約500	-	-	228																																				
事業5	吹奏楽祭の実施																																								
事業概要	四條畷市吹奏楽協議会との連携のもと市民の音楽に対する関心を深めるとともに、本市の音楽活動の振興と発展及び青少年の健全育成に貢献するため市内中学校、高等学校、大学、社会人の吹奏楽団体が共演し開催した。																																								

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

活動実績		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	来場者数 (人)	約 900	—	—	—	—
※令和2,3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。令和4年度は各団の参加調整がつかなかったため開催中止。						
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度) スポーツ、文化、レクリエーション、ボランティアなどの生涯学習活動を楽しんでいると答えた市民の割合 (単位:%)					
		令和 元年度	2年度	3年度	4年度	
	肯定的割合	—	—	—	22.1	
(出典:市民意識調査)						
評価	全体評価	■順調 □概ね順調 □やや課題あり □課題あり				
	先進性	□躍進的 ■前進				
	創意工夫	■躍進的 □前進				
	総合評価	□S ■A □B □C				
振り返りと評価 の説明	<p>【スポーツの分野】※事業1～2</p> <p>市民体育祭について、令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民体育祭の開催を中止とし、令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いつつ内容をリニューアルし参加者数を伸ばすことができた。</p> <p>ニュースポーツ体験事業について、令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止とした月もあったが、令和4年度は小さいお子さんから高齢者まで多くの方に参加してもらうことができた。</p> <p>【文化の分野】※事業3～5</p> <p>コロナ禍により縮小されてきたサークル活動はほぼ元の活動に戻り、令和4年度の市民文化祭出演団体はコロナ禍前と同程度となっている。また、来場者数も元の状態に戻りつつあり、賑わいのある市民文化祭が開催できた。</p> <p>一方で、吹奏楽祭については、令和4年度中は活動をもとに戻していく最中の団もあり、イベントの開催には至らなかった。しかしながら、令和5年度以降は毎年3月第3日曜日の開催を定例とすることを定め、次年度以降の各団の取組みを進めることとした。</p> <p>【総括】</p> <p>スポーツの分野では、幅広い年齢層の方の参加に加え、体験人数も増加傾向にあること、文化の分野では、各種事業について、関係団体との連携のもと方針決定し、創意工夫のもと開催できたことから、総合評価をAとした。</p>					

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

<p>今後の課題等</p>	<p>【スポーツの分野】</p> <p>市民体育祭は、各種スポーツ団体の協力のもと運営を行ってきたが、団体からの協力体制に課題があるため運営方法を見直す必要があり、更なる内容の見直し、大阪電気通信大学との連携など、運営体制の強化を図る。</p> <p>【文化の分野】</p> <p>市民文化祭は、舞台の部への出演団体は順調に元の水準に戻っているものの、展示の部の出展数が依然として低い状態が続いていることから改善を要する。その他、キッチンカーなどによる飲食ブースの拡充など、市民文化祭のさらなる充実をめざす。</p>
---------------	--

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

体系	基本方針	4 豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援				
	施策	生涯を豊かにする文化芸術・スポーツ活動の充実				
	施策の方向性	29 四條畷の宝を市民に広く周知していく体制の充実				
分野別計画等	第3次文化芸術振興計画					
事業1	体育・文化奨励賞の授与					
事業概要	体育・文化の分野において、特に功績が顕著な個人、団体へ奨励賞を授与し表彰することにより、本市の活動の振興、発展を促進する。					
活動実績	令和4年度は、12月4日に表彰式を行い、個人13人、1団体を表彰した。					
		令和 元年度	2年度	3年度	4年度	
	体育	個人(人)	13	4	6	9
		団体(団体)	0	0	1	1
	文化	個人(人)	3	3	1	4
		団体(団体)	0	0	0	0
事業2	史跡飯盛城跡保存活用計画の策定					
事業概要	令和3年10月11日に国史跡に指定された飯盛城跡を適切に次世代へ継承するため、現状と課題を整理した上で、今後の保存・活用を進めていくための指針となる基本的な計画について、令和5年度末に文化庁の認定を受ける予定で大東市とともに策定を進めた。					
活動実績	令和4年5月1日に大東市とともに史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会を立ち上げ、令和4年度は全3回の委員会を開催して計画の審議を実施した。					
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)					
	スポーツ・文化・レクリエーション・ボランティアなどの生涯学習活動を楽しんでいると答えた市民の割合 (単位%)					
		令和 元年度	2年度	3年度	4年度	
	肯定的割合	—	—	—	22.1	
	歴史を感じる場所があると答えた市民の割合 (単位%)					
		令和 元年度	2年度	3年度	4年度	
	肯定的割合	73.4	70.1	70.6	72.0	
	(出典:市民意識調査)					

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

評価	全体評価	■順調 □概ね順調 □やや課題あり □課題あり
	先進性	□躍進的 ■前進
	創意工夫	□躍進的 ■前進
	総合評価	□S ■A □B □C
振り返りと評価の説明	<p>体育・文化奨励賞については、活動の振興、発展をより促進するため、表彰式を実施し、広報誌等で受賞者の周知を行うなど、予定通り進めた。</p> <p>史跡飯盛城跡保存活用計画の策定に関しては、文化庁、大阪府教育庁文化財保護課の指導と助言を得ながら、順調に策定委員会で審議を進めてきた。令和5年度末に文化庁の認定を受けるべく事業を着実に推進していることから、総合評価をAとした。</p>	
今後の課題等	<p>体育・文化奨励賞については、活動の振興、発展をより促進するため、各種大会や文化表彰の基準を研究し、見直しを行う。</p> <p>史跡飯盛城跡保存活用計画が文化庁の認定を受けた後は、引き続き史跡整備基本計画の策定を計画しており、関係部署の協力のもと全庁的に進めていく必要がある。</p>	

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

体系	基本方針	4 豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援				
	施策	生涯を通じた学習活動の推進				
	施策の方向性	30 読書の重要性についての発信の強化				
分野別計画等	第3次子ども読書活動推進計画					
事業1	学校図書館支援					
事業概要	学校へ職員を派遣のもと、図書室利用の活性化を図った。					
活動実績	<p>・全校へ職員を派遣(小6校、中3校) ※派遣職員=学校図書館支援員</p> <p>・小学校:週4日(5時間/日)、中学校:週2~4日(4時間/日)</p> <p>・図書室の開室と貸出、図書室での授業のサポート(小学校)、館内整備、本の整理・修理、発注選書のサポート、図書の受入、イベント実施など</p> <p>・令和4年度は、コロナ禍で控えていた支援員の連絡会を再開。支援員間の情報共有を密にし、学校間での取組みの平準化と底上げを図った。</p> <p>※上記の施策の方向性のタイトルは「読書の重要性についての発信の強化」であり、学校図書館支援は直接には「発信の取組み」にはあたらないが、当施策の方向性の文中に「読書習慣の定着に向け、子どもと本をつなぐ取組み」も併記していることから、学校図書館支援も対象とした。</p>					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	支援実施校数	7校	8校	9校	9校	9校
来室回数	13.2	14.1	9.5	10.2	11.1	
※来室回数:支援実施校での児童生徒1人あたりの年間図書室来室回数(単位:回)						
事業2	ブックスタート					
事業概要	4か月検診時に絵本をプレゼントのうえ読み聞かせをPRした。					
活動実績	・例年年間12回実施					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	絵本贈呈人数	361人	371人	374人	326人	338人
<p>・事業の趣旨説明、読み聞かせの実演とPR、図書館利用の案内、利用カードの発行などを行う。</p> <p>・令和4年度は、読み聞かせの魅力を簡単にまとめたチラシを新たに作成のうえ、絵本と一緒に配布し、読み聞かせのPRを図った。</p>						
事業3	その他、読書の重要性についての発信にかかる主な取組み					
事業概要	①スタンプラリー行事、②つどいの広場訪問、③出前講座への参加					
活動実績	<p>①スタンプラリー行事</p> <p>秋の読書週間にあわせて他部署と連携してスタンプラリーを実施(3週間)のもと、保護者向けに読み聞かせのおすすめ本をリストにしたチラシを配布し、読み聞かせのPRに努めた。</p>					

基本方針4【豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援】

	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
参加者数	1,182	669	528	624	861
※参加者数：行事参加延べ人数(単位：人)					
②つどいの広場訪問 幼児とその保護者が集まる交流の場に訪問し、読み聞かせの魅力のPRを行った。(年4回)					
③出前講座 企画広報課が受付担当を行っている、市民のもとへ出向いて行政の取り組み内容の話をする出前講座のメニューに図書館も登録し、読書の魅力の発信強化を図った。(R4年度申込数：1団体/講座タイトル：「小さな子どもと楽しむ読み聞かせの魅力」)※R3年度から登録					
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)				
	スポーツ、文化、レクリエーション、ボランティアなどの生涯学習活動を楽しんでいると答えた市民の割合 (単位：%)				
		令和 元年度	2年度	3年度	4年度
肯定的割合	—	—	—	22.1	
(出典：市民意識調査)					
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり			
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進			
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進			
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C			
振り返りと評価の説明	第3次子ども読書活動推進計画のなか重点施策に挙げる学校図書館支援を中心に子どもの読書習慣の定着を図るとともに、幼児期からの連続性が重要との考えのもと、保護者へ向けて読み聞かせをPRするための各種取り組みを行った。なかでも、学校図書館支援に関し、市立図書館からの職員派遣に加え、市内全小中学校の支援を行っている図書館は稀であることから先進性を有すると見なすとともに、スタンプラリーのように多人数の参加が見込めるイベントの実施や保護者のもとへ出向いてPRを行うなどの取り組みは創意工夫を有すると見なし、前進との評価とした。以上のことから、総合評価をAとした。				
今後の課題等	学校図書館への支援は、極めて貴重な取り組みと位置付けて注力しているが、全校支援を行うためには一定の人員数を必要とすることから、持続可能な取り組みとするには、安定した人員確保が可能となる方策を考える必要がある。 また、コロナ禍により激減した貸出数は徐々に回復傾向にあるものの、コロナ禍前の実績には程遠いことから、さらなる創意工夫ある取り組みが必要と考える。				

基本方針5【学びを支える教育環境の整備】

体系	基本方針	5 学びを支える教育環境の整備					
	施策	安心・安全な施設等の段階的整備					
	施策の方向性	32 学校、社会教育施設及び学校給食施設の計画的な対応					
分野別計画等	学校施設修繕計画、学校空調設備整備計画						
事業1	校舎棟空調設備整備工事及び実施設計委託						
事業概要	学校空調設備整備計画に基づき実施する校舎棟空調の整備について、田原小、暇小、忍小の工事を実施するとともに、次年度の工事に向けて、岡部小、暇中、西中の実施設計委託を行った。						
活動実績	校舎棟空調の工事及び実施設計委託の実績 ※令和5年度で全校完了の予定						
		令和 2年度	3年度	4年度			
	実施設計委託	南小 くすのき小 田原中	田原小 暇小 忍小	岡部小 暇中 西中			
	工事		南小 くすのき小 田原中	田原小 暇小 忍小			
事業2	くすのき小学校屋内運動場非構造部材耐震工事						
事業概要	非構造部材（照明、バスケットゴール、窓ガラス）の耐震が未実施であったくすのき小屋内運動場について、耐震化工事を実施した。						
活動実績	屋内運動場の非構造部材耐震化工事の実施実績 ※令和4年度で全校完了						
		平成 25年度	27年度	28年度	30年度	令和 2年度	4年度
	学校	南小	田原小 暇小 岡部小 田原中	暇中	西中	忍小	くすのき小
事業3	岡部小学校屋内運動場照明 LED 工事						
事業概要	昇降式照明を設置の岡部小学校屋内運動場について、LED照明に更新するとともに、耐震化を図った。						

基本方針5【学びを支える教育環境の整備】

<p>活動実績</p>	<p>屋内運動場照明の LED 工事の実施実績 ※令和4年度で全校完了</p> <table border="1" data-bbox="448 300 1241 544"> <tr> <td></td> <td>平成 25年度</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> <td>30年度</td> <td>令和 4年度</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td>南小 忍小</td> <td>田原小 暇小 田原中</td> <td>暇中</td> <td>西中</td> <td>岡部小 くすのき小</td> </tr> </table>		平成 25年度	27年度	28年度	30年度	令和 4年度	学校	南小 忍小	田原小 暇小 田原中	暇中	西中	岡部小 くすのき小				
	平成 25年度	27年度	28年度	30年度	令和 4年度												
学校	南小 忍小	田原小 暇小 田原中	暇中	西中	岡部小 くすのき小												
<p>事業4</p>	<p>学校給食センター施設・設備等修繕事業</p>																
<p>事業概要</p>	<p>平成13年9月竣工以来、20年近く経過し、緊急性及び耐用年数等を考慮し、令和4年12月に策定した施設・設備等修繕計画に基づき、入れ替え等を実施する。</p>																
<p>活動実績</p>	<p>平成30年度 ①空調機器設置工事(コンテナ室) ②厨房機器購入(野菜裁断機等)</p> <p>令和元年度 修繕を随時行っているが、主要な厨房機器等の入れ替え実績なし</p> <p>令和2年度 修繕を随時行っているが、主要な厨房機器等の入れ替え実績なし</p> <p>令和3年度 ①厨房機器購入(球根皮剥機)</p> <p>令和4年度 ①ボイラー改修工事 ②厨房機器設置工事(スプーン洗浄機付浸漬装置・食器洗浄機)</p>																
<p>事業5</p>	<p>市民活動センターの施設維持・管理</p>																
<p>事業概要</p>	<p>体育館については、耐震化及び照明の LED 化、トイレ改修等の中規模改修を行った。また、旧校舎等については下記修繕を行った。</p>																
<p>活動実績</p>	<p><令和4年度の修繕工事等> 体育館中規模改修等工事、消防用設備修繕(誘導灯)、屋内消火栓設備修繕 他 施設の修繕・改修等の決算額 (単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="448 1675 1158 1921"> <tr> <td></td> <td>令和 2年度</td> <td>3年度</td> <td>4年度</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>217</td> <td>310</td> <td>957</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>-</td> <td>9,471</td> <td>4,345</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>-</td> <td>90</td> <td>138,877</td> </tr> </table>		令和 2年度	3年度	4年度	修繕料	217	310	957	委託料	-	9,471	4,345	工事請負費	-	90	138,877
	令和 2年度	3年度	4年度														
修繕料	217	310	957														
委託料	-	9,471	4,345														
工事請負費	-	90	138,877														

基本方針5【学びを支える教育環境の整備】

事業6	市民総合体育館及び屋外体育施設の維持・管理																		
事業概要	市民総合体育館及び屋外体育施設の老朽化対策等、安心安全な施設維持管理として下記修繕等を行った。																		
活動実績	<p>【市民総合体育館】</p> <p><令和4年度の修繕等></p> <p>市民総合体育館消防用設備修繕(誘導灯)、市民総合体育館非常放送設備アンプ取替修繕(令和5年度へ繰越) 他</p> <p>【屋外体育施設】</p> <p><令和4年度の修繕等></p> <p>市民運動広場さつきゲートボール場ライン張替、なわて水みらいセンターテニスコート砂入り人工芝部分補修 他</p> <p>決算額 (単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="448 786 1177 981"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕料</td> <td>-</td> <td>642</td> <td>1133</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,353</td> <td>2,607</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		令和 2年度	3年度	4年度	修繕料	-	642	1133	工事請負費	1,353	2,607	-						
	令和 2年度	3年度	4年度																
修繕料	-	642	1133																
工事請負費	1,353	2,607	-																
事業7	市民総合センターおよび市立公民館の施設維持・管理																		
事業概要	安心安全な施設利用において、老朽化にともなう不良箇所を含め各種修繕および工事を実施した。																		
活動実績	<p><令和4年度の修繕等></p> <p>陶芸ガス窯燃焼不良修繕、正面玄関自動扉開閉装置修繕、ホール音響設備修繕、ホール照明具および電球修繕、舞台吊物機構修繕、ホール照明調光設備修繕、ホール音響ミキサー卓修繕 他</p> <p>施設の修繕・改修等の決算額 (単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="448 1384 1348 1821"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修繕料</td> <td>2,828</td> <td>2,090</td> <td>2,408</td> <td>3,658</td> <td>2,005</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>3,359 (トイレ洋 式化工 事)</td> <td>1,078 (旧喫茶 室 改修工 事)</td> <td>3,201 (高圧受 変電 設備更新 工事)</td> <td>7,480 (エレベ ーター改修工 事)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	修繕料	2,828	2,090	2,408	3,658	2,005	工事請負費	3,359 (トイレ洋 式化工 事)	1,078 (旧喫茶 室 改修工 事)	3,201 (高圧受 変電 設備更新 工事)	7,480 (エレベ ーター改修工 事)	-
	平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度														
修繕料	2,828	2,090	2,408	3,658	2,005														
工事請負費	3,359 (トイレ洋 式化工 事)	1,078 (旧喫茶 室 改修工 事)	3,201 (高圧受 変電 設備更新 工事)	7,480 (エレベ ーター改修工 事)	-														

基本方針5【学びを支える教育環境の整備】

成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等（過去5年程度） 小学校・中学校などの教育環境が充実していると答えた市民の割合 (単位:%)											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>34.7</td> <td>36.8</td> <td>41.2</td> <td>31.6</td> </tr> </tbody> </table>		令和 元年度	2年度	3年度	4年度	肯定的割合	34.7	36.8	41.2	31.6
		令和 元年度	2年度	3年度	4年度							
	肯定的割合	34.7	36.8	41.2	31.6							
	公民館、図書館などの文化施設が充実していると答えた市民の割合 (単位:%)											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>37.6</td> <td>38.0</td> <td>38.8</td> <td>32.4</td> </tr> </tbody> </table>		令和 元年度	2年度	3年度	4年度	肯定的割合	37.6	38.0	38.8	32.4	
	令和 元年度	2年度	3年度	4年度								
肯定的割合	37.6	38.0	38.8	32.4								
テニスコートや体育館などの運動施設が充実していると回答した人の割合 (単位:%)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>36.1</td> <td>32.9</td> <td>34.8</td> <td>29.1</td> </tr> </tbody> </table>		令和 元年度	2年度	3年度	4年度	肯定的割合	36.1	32.9	34.8	29.1	
	令和 元年度	2年度	3年度	4年度								
肯定的割合	36.1	32.9	34.8	29.1								
(出典:市民意識調査)												
評価	全体評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり										
	先進性	<input checked="" type="checkbox"/> 躍進的 <input type="checkbox"/> 前進										
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進										
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C										
振り返りと評価の説明	<p>【小中学校】※事業1～3</p> <p>複数の事業が交錯するなか、年度当初の厳密なスケジュール設計に基づき進捗管理を行い、年度内に全事業を完了した。</p> <p>また、空調設備について、学校空調設備整備計画を策定のもと、他の自治体に先駆け全小中学校の屋内運動場への設置を完了し、また、校舎棟についても特別教室を含む全稼働教室への設置を進めた。</p> <p>【学校給食センター】事業4</p> <p>学校給食を実施している期間を除く限られた時間で事業を進めていかなければならないことや昨今の資材・設備品等の高騰が続くなか、年度内に事業をすべて完了した。</p> <p>【社会教育施設①】事業5～6</p> <p>年度当初のスケジュール設計に基づき、修繕の諸手続きを進めるなか、その時々で発生する急な修繕にも対応しながら、概ね年度当初のスケジュール設計に基づき、修繕の諸手続きを進めた。しかしながら、部品の調達等に支障があり、年度内に全事業を完了することができなかった。</p>											

基本方針5【学びを支える教育環境の整備】

	<p>【社会教育施設②】事業7</p> <p>築42年が経過する施設であるため、随所に不具合が生じているものの、突発的に発生する故障など、随時対応しつつ、利用者には不便が生じないよう施設を維持管理しているところである。</p> <p>【総括】</p> <p>一部の施設において、部品調達に時間を要したことから年度内に事業が完了できなかったが、小中学校において、他の地方自治体に先駆けて屋内運動場の空調設備を整備したことや、それ以外の施設においても予定していた事業を計画的に実施し、年度内に完了したことを鑑み、総合評価をAとした。</p>
今後の課題等	<p>【小中学校】</p> <p>学校施設の対応については、計画策定のもと、必要に応じ修繕等を行っているが、消防防火設備等については年度ごと点検による複数の指摘箇所が上がることから、経年での対応が必要となっている。</p> <p>また、水道配管など、インフラ設備の老朽化が進んでおり、個別施設計画【公共施設】と連動した取組みが急がれる。</p> <p>【学校給食センター】</p> <p>学校給食施設の設備等の管理運営については、早期の初期対応が必要であることから、調理等を委託する事業者へ順次移行し、実施してもらう必要性がある。また、消防防火設備等については年度ごと点検による複数の指摘箇所が上がることから、経年での対応が必要となっている。</p> <p>【社会教育施設①】</p> <p>全体的には、公共施設再編の個別施設計画【公共施設】に基づき、順次計画を進めていく。特に、市民活動センターの老朽化が進んでいる。修繕については、各施設の修繕計画により優先順位をつけ進める。</p> <p>【社会教育施設②】</p> <p>個別施設計画【公共施設】（令和5年4月改訂版）に基づき、市民総合センター用地に様々な公共施設機能を有した中核的施設の整備に向けて、課題・整理等が進められることが予定されている。再編の進展を踏まえ、優先順位をつけ修繕対応を進める。</p>

基本方針5【学びを支える教育環境の整備】

体系	基本方針	5 学びを支える教育環境の整備			
	施策	持続的で魅力ある学校教育の推進 安心・安全な施設等の段階的整備			
	施策の方向性	38 防災や交通安全教育の充実			
分野別計画等	登下校防犯プラン				
事業1	防火防災教育の実施				
事業概要	自助・共助の理解、将来の防火防災リーダーの育成・充実、地域防災力の向上に努めた。				
活動実績	令和4年度、小学校第5学年を対象に、大東四條畷消防組合による防火防災及び応急処置に関する教育を実施した。				
事業2	交通安全教室の実施				
事業概要	小学校低学年を対象に、大阪府四條畷警察署による交通安全教室を実施し、横断歩道の正しいわたり方や、運転者からの死角があることを体験することを通して、子どもたちの安全意識の向上を図る。				
活動実績	令和4年度は、実績なし				
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度) 市民意識調査における「とてもそう思う、そう思う」の割合 (単位:%)				
	指標	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	①地域の見守りがしっかりしている と答えた市民の割合	36.5	38.8	39.3	36.5
	②交通事故や犯罪などが少 ないと答えた市民の割合	54.8	57.8	54.7	55.6
	(出典:市民意識調査)				
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり			
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進			
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進			
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C			
振り返りと評価の説明	専門的な見地から、大東四條畷消防組合や大阪府四條畷警察署から子どもたちに指導いただくことで、自助・共助の理解、地域防災力及び交通安全への意識向上につなげることができたため、総合評価をAとした。				
今後の課題等	新型コロナウイルス感染症の影響により、全校での実施には至っていないが、次年度より、交通安全教室の実施も含めて、市内全校で統一して実施できるよう呼びかけていく。				

基本方針6【学びを支える教育体制の整備】

体系	基本方針	6 学びを支える教育体制の整備		
	施策	教職員の資質能力の向上 持続可能な指導体制の整備 ICT利活用のための基盤整備		
	施策の方向性	40 学校力の向上		
分野別計画等	まなびのプラン			
事業1	学力向上対策プロジェクトチーム会議の実施			
事業概要	各小中学校の学力向上の担当者等で構成されるチームで研修、会議、取組発信を行い、市域で学力向上の取組み充実を図った。			
活動実績	学力向上対策プロジェクトチーム会議の実施実績 (単位:回)			
	年度	令和 2年度	3年度	4年度
	回数	6	8	7
この会議を継続して実施してきたことから、学力向上の取組みの授業改善、家庭学習を中心に、担当者だけでなく、学校全体で組織的に取り組むことができている。特に、確かな学びをはぐくむ推進校における取組み報告や各校での好事例の紹介を通して、域内の取組みが平準化されてきた。				
事業2	「四條畷市『確かな学びを育む』学校づくりスタンダード」の改訂、「四條畷市授業づくりスタンダード」の改訂			
事業概要	子どもの学びの充実のための学校環境整備と、教員の指導力向上の取組みの好事例を事例収集し、改訂を行った。 また、教職員がめざす学校・授業づくりを主体的にすすめられるよう、各スタンダードを積極的に周知した。			
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の各校への配布(電子) ・初任者教員への配布(紙媒体) ・年次研修(初任、2年次、5年次、10年経験者)該当教員への周知及び「四條畷市『確かな学びを育む』学校づくりスタンダード」の改訂、「四條畷市授業づくりスタンダード」に基づく指導主事による指導助言 ・校内研修等での周知 ・指導主事による市内研究授業等の参観を通じた事例収集 			
事業3	校内研修や授業研究に係る講師招聘			
事業概要	教職員の指導力向上に係る研修・研究会に講師を招聘した。			
活動実績	教職員の指導力向上に係る研修・研究会に講師を招聘実績			
	年度	令和 2年度	3年度	4年度
	報償費支出合計(円)	274,050	386,000	240,000
講師招聘回数(回)	18	20	16	

基本方針6【学びを支える教育体制の整備】

成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等（過去5年程度） 教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを「週1回程度、または、それ以上」行ったと答えた教職員の割合（単位：%）					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	小学校	—	—	—	50.0	66.7
中学校	—	—	—	33.3	33.3	
(出典：全国学力・学習状況調査 学校質問紙)						
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり				
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進				
	創意工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 躍進的 <input type="checkbox"/> 前進				
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C				
振り返りと評価の説明	<p>すべての学校が学力向上対策プロジェクトチーム会議や学力向上担当者を中心に、校内でPDCAサイクルに基づき、各種調査結果を生かし、学力向上に取り組んでおり、学力向上の取組みが標準化した。</p> <p>市の重点取組については、教職員及び児童生徒アンケート結果を活用し、各校が共通の指標で一年間の進捗を分析し、好事例については、市域で共有を図ることができた。以上のことから、総合評価をAとした。</p>					
今後の課題等	<p>学校が抱える多様な教育ニーズに応えるためには、組織的な対応が必須である。市は必要な研修を実施したり、学校を訪問して指導助言したりし、教職員一人ひとりが、専門性向上や授業のスキルアップをはかりながら、学校が組織として機能し、チーム力が発揮できるようにしていくとともに、働き方改革をすすめながら、ビルドだけでなく、適切にスクラップを行っていく必要がある。</p> <p>令和5年度は、学校の組織力、教職員の授業改善、子どもたちの主体的に学習に取り組む態度の涵養を市の取組みの柱としながら、各校での取組みが充実するよう、上記の事業について引き続き継続していく。</p>					

基本方針6【学びを支える教育体制の整備】

体系	基本方針	6 学びを支える教育体制の整備				
	施策	持続可能な指導体制の整備				
	施策の方向性	41 教員の負担軽減の取組み				
分野別計画等						
事業1	小学校水泳授業の業務委託					
事業概要	専門家の指導による小学校の水泳授業を民間委託とし、教職員の働き方改革の観点から、プールに係る準備、整備、指導等に係る負担軽減を図った。					
活動実績		令和4年度				
	学校	四條畷小学校及び四條畷南小学校				
	時間(時間)	各校1学年当たり4時間				
事業2	電話アナウンスサービス導入					
事業概要	教員の勤務時間外の負担を軽減し、授業準備や子どもと向き合う時間の確保を図るため、全小中学校の電話機にアナウンスサービスを導入した。					
活動実績	学校と教育委員会の連名により、令和5年3月8日付けて、保護者あてに当該事業の趣旨や内容を記載した文書を発出し、同年3月10日から運用を開始した。					
成果指標	※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)					
	小中学校の教員の1週間当たりの学内総勤務時間 (単位:時間)					
		平成 30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
	小学校	—	—	—	46.0	46.5
中学校	—	—	—	49.5	49.0	
(出典:事務局調査)						
評価	全体評価	■順調 □概ね順調 □やや課題あり □課題あり				
	先進性	■躍進的 □前進				
	創意工夫	■躍進的 □前進				
	総合評価	■S □A □B □C				
振り返りと評価の説明	教員の負担軽減の取組みとして、小学校水泳授業の業務委託及び電話アナウンスサービスの導入を実施した。特に小学校水泳授業の業務委託については、初年度であったが、プールの水質管理業務、プール施設の安全管理業務、2度のプール清掃業務が削減されたことにより、教員の負担軽減としては、大きな成果をあげることができたため、総合評価をSとした。					
今後の課題等	小学校水泳授業の業務委託について、令和5年度は、実施校を3校に増やし、実施する予定である。今後も、教員の負担軽減の取組みを進めていきたい。					

基本方針6【学びを支える教育体制の整備】

体系	基本方針	6 学びを支える教育体制の整備										
	施策	教職員の資質能力の向上 持続可能な指導体制の整備 ICT利活用のための基盤整備										
	施策の方向性	43 ICT環境の整備と情報セキュリティの確保										
分野別計画等	市立小中学校における教育の情報化整備計画、市立小中学校における ICT利活用計画											
事業1	中学校教員に対するタブレットの全員配布											
事業概要	GIGA スクール構想をより進めるために、学級に1台であった学習者用タブレットPCを中学校教員全員に配布した。											
活動実績	令和4年度、一人一人に配備された学習者用タブレット PC を、授業で「ほぼ毎日」活用したと答えた中学校の教職員の割合が100%だった。											
事業2	回線増速工事の実施											
事業概要	タブレットの活用促進に対応するため、回線速度を増速した。											
活動実績	令和4年度、一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業で「ほぼ毎日」活用したと答えた教職員の割合が100%だった。											
成果指標	<p>※分野別計画に掲げる指標、各種アンケート調査の結果等(過去5年程度)</p> <p>「一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、授業でどの程度活用しましたか」に対し、「ほぼ毎日」活用したと答えた教職員の割合</p> <p>(単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>本調査項目は令和4年</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>度からのため、数値なし</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度調査からの項目 (出典：全国学力・学習状況調査 学校質問紙)</p>				令和3年度	4年度	小学校	本調査項目は令和4年	50.0	中学校	度からのため、数値なし	100
	令和3年度	4年度										
小学校	本調査項目は令和4年	50.0										
中学校	度からのため、数値なし	100										
評価	全体評価	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> やや課題あり <input type="checkbox"/> 課題あり										
	先進性	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進										
	創意工夫	<input type="checkbox"/> 躍進的 <input checked="" type="checkbox"/> 前進										
	総合評価	<input type="checkbox"/> S <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C										
振り返りと評価の説明	中学校教員に全員配備できたことで、授業での活用がさらに進んだ。このことから、総合評価をAとした。											
今後の課題等	今後、授業改善を進めるとともに、より効果的な活用ができるように情報教育担当者を中心に、各校での研究を進めていく必要がある。											

令和4年度実施事業における点検評価総評

外部評価者からの意見・助言等(総評)

今年度分から報告書の形式が変更となり、新しいものを作ろうとする努力は評価する。しかしながら、事業評価スタイルになったことにより、事業実績の羅列にとどまり、教育委員会の考え方が表せていない部分が見られた。教育委員会の考え方と取組みたい方向性をしっかりと示すことが重要であると考えます。

成果指標について、事業ごとの評価ではなく、複数の事業の方向性の指標となっており乖離がある。

教育環境の充実のために市で独自に行っている事業について、しっかりとアピールする必要がある。

千里金蘭大学 教育学部教育学科 教授 島 善信

教育の課題に即した「施策の方向性」が体系的に整理され、その方向性にあった事業が着実に展開されている。

多くの事業の実績がコロナ禍以前の水準に回復しつつあることが見て取れ、この間の地道な努力の結果が表れている。

点検評価の項目として、「先進性」及び「創意工夫」が盛り込まれている点はユニークで先進的であるが、それぞれの項目の評価基準を明確にし、評価に至った経緯の説明をもう少し詳細に記載すべきであると考えます。

京都女子大学 発達教育学部教育学科 教授 岩槻 知也

(参考)

基本方針、施策一覧

基本方針	施策	施策の方向性	学識経験者からの意見聴取に付する施策に○	抽出数
1 主体的に考え行動する「生きる力」を育む 教育の推進	* 豊かな学力の育成 * 豊かな心の醸成 * 健やかな体の育成	1 乳幼児期から小中学校への円滑な接続と連携の推進	○	5
		2 情報活用能力の育成と習熟度に応じた学習支援の強化	○	
		3 カリキュラム・マネジメントの充実		
		4 ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	○	
		5 読書活動の推進		
		6 英語教育の充実		
		7 人権教育、道徳教育、郷土教育を通じた豊かな心の育成		
		8 いじめ防止に向けた取組み		
		9 キャリア教育の推進		
		10 体力向上の取組み	○	
		11 給食を通じた食育の推進	○	
		12 学校給食における地場産野菜の活用		
2 個を認め、寄り添い、 活かす教育の推進	* ライフステージに応じた継続的な支援の充実 * 多様なニーズに即した教育の提供	13 個の状況に応じた必要な支援の提供	○	3
		14 ユニバーサルデザインによる授業や集団づくり		
		15 とともに学び、ともに育つ人権教育の充実		
		16 外国にルーツがある児童生徒への個別支援		
		17 識字施策の推進	○	
		18 ひきこもり等にある若者への支援		
		19 不登校児童生徒等への適切な支援	○	
3 地域の教育コ ミュニティづくりへの 支援	* 家庭・地域・学校の連携、協働の推進	20 地域とともにある学校づくり	○	2
		21 部活動の地域との連携	○	
		22 ふれあい教室と放課後子ども教室の連携		
		23 家庭の教育力向上に向けた取組みの推進		
		24 社会で生きる力と想像力を身につける取組み		
4 豊かな生涯学習活動 と地域を創造する学びの 支援	* 生涯を通じた学習活動の推進 * 生涯を豊かにする文化芸術・スポーツ活動の充実	25 多様化、高度化する学習ニーズに応じた生涯学習の推進	○	4
		26 学びの成果を地域やまちづくりに生かす取組み		
		27 関係団体と連携した推進体制の充実	○	
		28 市民が文化芸術に触れ、楽しめる機会の充実		
		29 四條畷の宝を市民に広く周知していく体制の充実	○	
		30 読書の重要性についての発信の強化	○	
		31 あらゆる年代の読書活動の推進		
5 学びを支える教育環 境の整備	* 安心・安全な施設等の段階的整備 * 持続的で魅力ある学校教育の推進	32 学校、社会教育施設及び学校給食施設の計画的な対応	○	2
		33 小中一貫教育の推進		
		34 人口動態を踏まえた学校運営や施設のあり方の検討		
		35 新たな学びや出会いが生まれる空間的施設整備の検討		
		36 児童生徒の学びの継続に向けた取組み		
		37 通学路等交通安全プログラムに基づく取組み		
		38 防災や交通安全教育の充実	○	
6 学びを支える 教育体制の整備	* 教職員の資質能力の向上 * 持続可能な指導体制の整備 * ICT利活用のための基盤整備	39 キャリアステージに応じた質の高い研修の実施		3
		40 学校力の向上	○	
		41 教員の負担軽減の取組み	○	
		42 校務のICT化		
		43 ICT環境の整備と情報セキュリティの確保	○	

参考

教育振興基本計画に基づく各種取組み一覧

基本方針	施策	施策の方向性	成果指標	分野別計画等	取組内容		今後の方向性	所管課	
					令和4年度(新規・拡充)	これまで(過去3年程度)			
1 主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進	※※※ 健康 豊かな 心身の 力の 育成 育成	1 乳幼児期から小中学校への円滑な接続と連携の推進	①全国学力・学習状況調査(観点「知識・技能」の正答率)の 全国平均正答率を1とした時の割合 ※2教科総合 【全国学力・学習状況調査】	乳幼児教育保育アクションプラン 第2期子ども・子育て支援事業計画	-	・市支援教育リーディングスタッフによる就学前施設の巡回相談の実施 ・就学相談の実施 ・学校見学の実施 ・つなごシート作成 ・保幼小中連携研修の開催 ・子関連会議への参加 ・小中連携会議の開催	継続	学校教育課	
		2 情報活用能力の育成と習熟度に応じた学習支援の強化		まなびのプラン 市立小中学校におけるICT利活用計画	-	・学力向上対策プロジェクトチーム会議の開催 ・学力向上コーディネーターの配置 ・学習指導員、学生ボランティアの配置 ・NRT(全国標準学力検査)の実施 ・指導力向上に係る教材教具の購入 ・指導力向上に係る校内研修への講師招聘	継続	教育支援センター	
		3 カリキュラム・マネジメントの充実		まなびのプラン 市立小中学校におけるICT利活用計画	【カリキュラム・マネジメントの調査研究】 実践校の取組みを支援するとともに、取組み内容を地域の各小中学校へ普及した。 予算額:198千円	-	・市内小中学校への指導助言 ・カリキュラム・マネジメント調査研究の実施(実施校:忍ヶ丘小学校)	継続	学校教育課
		4 ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な 充実		まなびのプラン 市立小中学校におけるICT利活用計画	【AI型ドリルの導入】 個別最適な学習を推進するため導入。単元の復習や、学年を超えての利用、家庭学 習の推進を図った。 予算額:39,441千円	-	・パソコンルーム設備の更新 ・全児童生徒に学習用タブレットPCの配備 ・授業支援システムの導入 ・ICT利活用計画の策定 ・オンライン学習支援制度開始 ・フィルタリングソフトの導入	継続	教育支援センター
		5 読書活動の推進		第3次子ども読書活動推進計画	【調べ学習用図書】 学校図書館への貸出用として、市立図書館で調べ学習関連図書を購入した。 予算額:480千円	-	・学校図書館支援事業(市内小中学校への学校図書館支援員の派遣) ・本紹介イベントの開催 ・学校への団体貸出しの実施 ・絵巻図書等のリサイクル本の学校への優先譲渡 ・1日図書館員体験の実施	継続	図書館
		6 英語教育の充実		-	-	-	・英検・GTEC・英語担当者連絡会の実施 ・大学教授による研修会の実施	継続	学校教育課
		7 人権教育、道徳教育、郷土教育を通じた豊かな心の育成		①自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合 ②人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合 ③将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】	①小:74.0% 中:71.3% (参考)全国 小:79.3% 中:78.5% ②小:95.5% 中:93.8% (参考)全国 小:95.1% 中:95.0% ③小:78.0% 中:67.2% (参考)全国 小:79.8% 中:67.3%	-	・NPO法人 ほうじょうでの現地研修の実施 ・教育委員会職員を講師とした市内めぐり研修の実施	継続	学校教育課
		8 いじめ防止に向けた取組み		-	-	-	・道徳教育推進教師連絡協議会の開催 ・大阪府教育庁市町村支援メニューを活用し、道徳教育推進教師に向けた研修の実施	継続	教育支援センター
		9 キャリア教育の推進		-	-	-	・Hyper-QUの実施 ・キャリア教育担当者会の開催 ・キャリアパスポートファイルの活用	継続	学校教育課

基本方針	施策	施策の方向性	成果指標	分野別計画等	取組内容		今後の方向性	所管課	
					令和4年度(新規・拡充)	これまで(過去3年程度)			
		10 体力向上の取組み	①朝食を毎日食べていると答えた児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】	①小:91.1% 中:89.6% (参考)全国 小:94.4% 中:91.9%	-	【小学校水泳授業の民間委託】 四條畷小学校(8月~12月)及び四條畷南小学校(6月~7月)の水泳授業を民間委託し、1人につき1回当たり60分の授業を4回行った。 予算額:7,808千円	全国体力・運動能力運動習慣等調査の実施 学校保健会の開催 体育担当者部会の開催	拡充	学校教育課
		11 学校給食を通じた食育の推進	②毎日、同じくらいの時刻に寝ていると答えた児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】 ③毎日、同じくらいの時刻に起きていると答えた児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】	②小:75.7% 中:77.5% (参考)全国 小:81.5% 中:79.9% ③小:87.3% 中:92.0% (参考)全国 小:90.4% 中:92.2%	第3次食育推進計画	-	学校給食センター見学事業(小学生)の実施 栄養士による食育授業の実施 学校給食の試食会の実施	継続	学校給食センター
		12 学校給食における地場産野菜の活用			-	地元農家からの野菜等の調達 農協を通じて地元のお米の使用	継続	学校給食センター	
2 個を認め、寄り添い、活かす教育の推進	※多様なニーズに即応した教育の提供 ※継続的な支援の充実	13 個の状況に応じた必要な支援の提供			まなびのプラン	【通級指導教室の全校配置】 全校で自校通級がてきえる環境が整い、きめ細かい指導の充実が図れた。また、各小中学校に介助員・学校支援員を配置した。 予算額:46,027千円	通級指導教室の設置 各小中学校に介助員・学校支援員を配置	継続	学校教育課
		14 ユニバーサルデザインによる授業や集団づくり	①支援教育の観点から、指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行ったと答えた教職員の割合 【事務局調査】	①小:93.7% 中:92.5%		-	交野支援学校四條畷校の巡回相談の実施 市支援教育リーディングスタッフによる小学校第1学年及び中学校第1学年の巡回相談の実施 四條畷市立小中学校支援教育研究会への補助 市主催支援教育研修の実施	継続	学校教育課
		15 ともに学び、ともに育つ人権教育の充実			-	-	四條畷市人権教育研究協議会への出席(年間11回) 大阪府教育庁市町村支援メニューを活用し、学習講座を開催 市人権教育研究協議会学習講座の共同開催 指導助言	継続	教育支援センター
		16 外国にルーツがある児童生徒への個別支援	①自立支援事業(通訳者派遣)の人数及び回数 【事務局調査】	①自立支援通訳者の派遣人数・派遣回数 小中学校計 7人・146回	識字施策推進指針 第3次識字基本計画	-	自立支援通訳者の派遣	継続	学校教育課
		17 識字施策の推進	②にほんご教室の開催回数及び学習者数 【事務局調査】	②開催回数:90回 学習者数:500人(延べ学習者数)・39人(学習登録者数)		【北河内識字日本語交流会の開催】 幹事市として北河内識字日本語交流会を市民総合センターで開催した。外国にルーツのある人などに茶道や和太鼓、三味線などの体験をしていただき、学習者の交流の場を設けた。 予算額:109千円	市にほんご教室及び日本文化の体験・交流事業の開催 北河内識字日本語交流会への参画 みんなさてや教室への補助	継続	文化・公民館振興課
		18 ひきこもり等にある若者への支援	①臨床心理士に対するひきこもりの相談件数 【事務局調査】	①112件	子ども・若者育成支援行動計画	-	心理相談員による相談窓口の設置 保護者向けセミナー兼居場所づくり「ピアポケット」の実施	継続	青少年育成課
		19 不登校児童生徒等への適切な支援	②教育相談室における不登校の相談件数 【事務局調査】	②361件		【教育支援センターの機能拡充】 SC/SSW/生徒指導主事/児童生徒支援Co/フリールームなわて相談員と連携し、アウトリーチ型の不登校対策に取り組んだ。 予算額:14,933千円	個別調査カードの作成 教育相談Co育成研修の実施 Hyper-QUの実施	継続	教育支援センター

基本方針	施策	施策の方向性	成果指標	分野別計画等	取組内容		今後の方向性	所管課			
					令和4年度(新規・拡充)	これまで(過去3年程度)					
3 地域の教育コミュニティづくりへの支援	* 家庭・地域・学校の連携、協働の推進	20 地域とともにある学校づくり	①地域の見守りがしっかりしていると答えた市民の割合【市民意識調査】 ②保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があると答えた教職員の割合【全国学力・学習状況調査 学校質問紙】	①36.5%	-	【地域とともにある学校づくりの推進】 CSマイスター研修を行い、四條畷中学校区及び田原中学校区で学校運営協議会による取組を実施した。 予算額:511千円	CSマイスター研修の実施 四條畷中学校区で学校運営協議会の取組の実施	拡充	学校教育課		
		21 部活動の地域との連携				【部活動指導員の配置】 部活動指導員を各校2人に増員した。 予算額:1,344千円	部活動指導員の配置(各校1人) 部活動改革連絡会の開催	拡充	学校教育課		
		22 ふれあい教室と放課後子ども教室の連携				②小:66.7% 中:100% (参考)全国 小:93.7% 中:86.5%	第2期子ども・子育て支援事業計画 子ども・若者育成支援行動計画	-	ふれあい教室児童の参加による子ども教室の実施 田原ふれあい教室児童を対象としたプログラミング教室の実施	継続	青少年育成課
		23 家庭の教育力向上に向けた取組の推進				-	-	親子の交流を図る「いきいき親子運動会」の開催 大阪府教育庁作成の観学習教材の周知	継続	青少年育成課	
		24 社会で生きる力と想像力を身につける取組				子ども・若者育成支援行動計画	-	指定管理者による野外活動センターでのイベントの開催(キャンプ、天体観測等) 成人式の挙行	継続	青少年育成課	
4 豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援	* 生涯学習を通じた学習活動の推進 * スポーツ活動の充実	25 多様化、高度化する学習ニーズに応じた生涯学習の推進	①市民講座・文化サークルなどが充実していると答えた市民の割合【市民意識調査】 ②スポーツ活動やイベントが充実していると答えた市民の割合【市民意識調査】 ③これまで身につけた知識、技術、経験を仕事や地域、社会での活用に生かしていると答えた市民の割合【市民意識調査】	①24.2% ②16.3% ③30.0%	第2次スポーツ推進計画 第2次公民館振興計画	-	なわて歩こう会・歩こう大会の開催 歴史民俗資料館自主事業の実施 市民総合体育館自主事業の実施	継続	スポーツ・文化財振興課		
		26 学びの成果を地域やまちづくりに生かす取組				【スマホ教室の開催】 奈良先端科学技術大学院大学のスマートフォンアプリを用いた高齢者向け見守り・ヘルプスクエアの実証実験として、スマートフォンの使い方教室を開催した。	大学等と連携した各種講座の開催 スマホ教室・パソコン基礎講習会の開催 各種講座のオンライン対応・ポケットWi-Fiの貸出	継続	文化・公民館振興課		
						-	市民総合体育大会の開催	継続	スポーツ・文化財振興課		
						-	市民文化祭の開催 なわて健活講座の実施 キッズランドの実施 市民企画講座の実施 国際理解講座の実施 市民活動応援講座の実施 体験ワークショップの実施	継続	文化・公民館振興課		

基本方針	施策	施策の方向性	成果指標	分野別計画等	取組内容		今後の方向性	所管課	
					令和4年度(新規・拡充)	これまで(過去3年程度)			
		27 ライフステージ、ライフサイクルにあわせて主体的に学び、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう、関係団体と連携した推進体制の充実		第2次スポーツ推進計画 第3次文化芸術振興計画	【スポーツフェスティバル2022～第66回市民体育祭】 市民総合体育館指定管理者への委託事業として、市内の体育団体、大阪電気通信大学の協力を得て、市民体育祭をリニューアルし、スポーツフェスティバル2022～第66回市民体育祭～を開催した。 予算額:795千円	第63回市民体育祭の開催 ・ニュースポーツ体験の実施 ・市民文化祭の実施 ・コーラスフェスティバルの実施 ・吹奏楽祭の実施 ・公民館フェスティバルの実施	継続	スポーツ・文化財振興課 文化・公民館振興課	
		28 市民が文化芸術に触れ、楽しめる機会の充実		第3次文化芸術振興計画	—	歴史民俗資料館第36回特別展『重要拠点KARTYA』の開催 ・歴史民俗資料館第36回特別展『「天下の支配者」三好殿』の開催 ・飯盛城跡調査報告会の開催 ・市民文化祭の実施 ・コーラスフェスティバルの実施 ・囃吹奏楽祭の実施 ・オープンサークルの実施 ・体験ワークショップの実施 ・公民館フェスティバルの実施	継続	スポーツ・文化財振興課 文化・公民館振興課	
		29 四條畷の宝を市民に広く周知していく体制の充実		①スポーツ、文化、レクリエーション、ボランティアなどの生涯学習活動を楽しんでいると答えた市民の割合 【市民意識調査】 ②歴史を感じる場所があると答えた市民の割合 【市民意識調査】	第3次文化芸術振興計画	【史跡飯盛城跡保存活用計画の策定】 史跡飯盛城跡を適切に次世代へ継承するため、現状と課題を整理した上で、今後の保存・活用を進めていくための指針となる基本的な計画を策定した。 予算額:2,125千円	・体育・文化奨励賞の授与	継続	スポーツ・文化財振興課
		30 読書の重要性についての発信の強化			第3次子ども読書活動推進計画	—	・定例子ども向け行事(おはなし会等)の開催 ・読書週間特別イベント(スタンプラリー)の開催 ・出前おはなし会(こども園等へ出張)の実施 ・ブックスタートの実施 ・なわて出前講座への参加	拡充	図書館
		31 あらゆる年代の読書活動の推進			【大人向け行事の実施】 朗読ボランティアの協力のもと、詩や物語などを音読する行事を実施した。 予算額:3千円	・図書、雑誌の継続的受入れ ・本のテーマ展示の定期的な実施 ・図書館だより(新刊紹介)の発行 ・イベントの実施	継続	図書館	
5 学びを支える教育環境の整備	** 持 安 統 心 的 ・ 安 魅 全 力 な あ ら ま の 設 校 の 教 育 階 的 推 進 備	32 学校、社会教育施設及び学校給食施設の計画的な対応		学校再編整備計画 個別施設計画【公共施設】 学校施設修繕計画 学校空調設備整備計画	【小中学校】 田原小学校、四條畷小学校及び忍ヶ丘小学校校舎棟の空調設備の更新及び新設、くすのき小学校の屋内運動場非構造部材の耐震化及び同部小学校の屋内運動場照明の耐震化及びLED化を実施した。 予算額:386,568千円	・忍ヶ丘小学校大規模改修工事の実施 ・四條畷小学校内部改修工事の実施 ・田原中学校トイレ洋式化工事の実施 ・四條畷南小学校、くすのき小学校、田原中学校校舎棟空調設備整備工事の実施 ・小中学校屋内運動場空調設備整備工事の実施 ・くすのき小学校、田原小学校屋上防水工事の実施 ・小中学校消防防火設備修繕工事の実施	継続	教育総務課	
		33 小中一貫教育の推進		①小学校・中学校などの教育環境が充実していると答えた市民の割合 【市民意識調査】 ②公民館、図書館などの文化施設が充実していると答えた市民の割合 【市民意識調査】 ③テニスコートや体育館などの運動施設が充実していると答えた市民の割合 【市民意識調査】	学校給食センター施設・設備等修繕計画	【学校給食センター】 ボイラー改修工事、スプーン洗浄機付浸漬装置・食器洗浄機・マイコンスライサーの設置工事を実施した。 予算額:60,588千円	・厨房機器設置工事(球根皮むき器) ・コンベアオープン修理 ・ランドケトル、蒸し器修理 ・調味料冷蔵庫修理 ・NAW食缶類洗浄機修理 ・浄化槽調整ポンプ取替 ・缶切り機修理 ・野菜裁断機修理 ・焼き物機修理	継続	学校給食センター
		34 人口動態を踏まえた学校運営や施設のあり方の検討			市民活動センター修繕計画 市民総合体育館修繕計画 第2次スポーツ推進計画	【市民活動センター】 体育館の耐震補強、照明のLED化、空調の新設、トイレの改修ほか老朽化の改善工事を実施した。 予算額:160,000千円 【市民総合体育館及び屋外体育施設】 非常放送設備の老朽化に伴う入れ替え工事を実施した。 予算額:2,640千円	・市民活動センター ・体育館照明灯球修繕 ・受付空調設置工事 ・自動火災報知器修繕 ・体育館中規模改修工事実施設計委託 【市民総合体育館及び屋外体育施設】 ・屋上防水工事 ・高圧受電設備改修工事 ・市章等撤去工事 ・高圧交流負荷開閉器他改修工事 ・市民グラウンドテニスコート張替工事 ・なわて水みらいテニスコート砂入り人工芝補修 ・共同アンテナ設備修繕	継続	スポーツ・文化財振興課
					学校再編整備計画	—	—	・四條畷市学力向上対策プロジェクトチーム会議の開催 ・支援教育研究会(支援学級担任者会)の開催 ・通級担当者連絡会の開催 ・四條畷市小中学校生活指導研究協議会の開催	継続
					—	—	改善	教育総務課	
					—	・人口動態及び児童生徒数、学級数等の予測 ・学校運営の充実、改善に係るヒアリングの実施	継続	学校教育課	

基本方針	施策	施策の方向性	成果指標	分野別計画等	取組内容		今後の方向性	所管課		
					令和4年度(新規・拡充)	これまで(過去3年程度)				
		35 ユニバーサルデザインを導入し、新たな学びや出会いが生まれる空間的施設整備の検討		第3次文化芸術振興計画 個別施設計画【公共施設】	—	エレベーター改修工事 高圧受変電設備更新工事 旧喫茶室改修工事 防災対応型ブラインド取付 作業場シャッター開閉器取替 玄関階段手すり設置 1階玄関口ガラス取替工事 展示ホール空調設備モーター修繕	継続	文化・公民館振興課		
		36 新しい生活様式を踏まえた児童生徒の学びの継続に向けた取組み		—	—	学習者用タブレットPCを活用したオンライン学習の実施 感染リスクの高低による教育活動の選択、実施 感染対策を講じた教育活動の実施	継続	学校教育課		
		37 通学路等交通安全プログラムに基づく取組み	①地域の見守りがしっかりしていると答えた市民の割合 【市民意識調査】	①36.5%	通学路等交通安全プログラム	—	合同点検の実施	継続	学校教育課	
		38 防災や交通安全教育の充実	②交通事故や犯罪などが少ないと答えた市民の割合 【市民意識調査】	②55.6%	登下校防犯プラン	【防災防災教育の実施】 小学校第5学年を対象に、大東四條順消防組合による防火防災及び応急処置に関する教育を実施し、自助・共助の理解、将来の防火防災リーダーの育成・充実、地域防災力の向上に努めた。	・火災等、災害発生時の避難をテーマとした講話、避難行動体験の実施	拡充	学校教育課	
6 学びを支える 教育体制の 整備	*** I 持教 C 統職 T 可員 利 能 の 活 な 資 用 指 の 導 能 力 の 制 の 向 基 盤 上 整 備 整 備	39 キャリアステージに応じた質の高い研修の実施	①個々の教員が自ら専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していると答えた教職員の割合(オンラインでの参加を含む) 【全国学力・学習状況調査 学校質問紙】	①小:33.3% 中:66.7% (参考)全国 小:76.0% 中:73.0%	まなびのプラン	—	・初任者、2年次、10年次をはじめ、5年次の経験者を対象とした研修の実施 ・担当に応じた研修(学力、支援、道徳、英語、情報など)の実施。	継続	教育支援センター	
		40 学校力の向上	①教員が「学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを「週1回程度、または、それ以上」行ったと答えた教職員の割合 【全国学力・学習状況調査 学校質問紙】	①小:66.7% 中:33.3% (参考)全国 小:51.3% 中:36.5%	—	【学校力の向上の推進】 学校力の向上にかかる組織づくりにつき、市内小中学校教職員のチームビルディング力の向上につながる市主催の連絡会、会議、研修等の実施、教職員の指導力の向上に係る研修等を行った。 予算額:904千円	・学力向上対策プロジェクトチーム会議の実施 ・四條市授業づくりスタンダードの作成、改訂 ・四條市「確かな学びを育む」学校づくりスタンダードの改訂 ・校内研修や授業研究に係る講師招聘	継続	学校教育課	
		41 教員の負担軽減の取組み	①小中学校の教員の1週間当たりの学内総勤務時間 【事務局調査】	②ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員の書類作成等その他の事務が軽減されたと答えた教職員の割合 【全国学力・学習状況調査 学校質問紙】	②小:100% 中:100% (参考)全国 小:73.7% 中:69.5%	市立小中学校における教育の情報化整備計画 市立小中学校におけるICT活用計画	—	・校務支援システムのモデル導入(田原小、田原中) ・校務用端末の更改及び追加配備 ・統合型校務支援システムの全校導入	継続	学校教育課
		42 校務のICT化				—	【電話アナウンスサービス導入】 教員の勤務時間外の負担を軽減し、授業準備や子ども向き合う時間の確保を図るため、全小中学校の電話機にアナウンスサービスを導入した。 予算額:1,205千円	※機構改革により教育支援センター事業として移管 (校務用端末関連)	継続	教育総務課
		43 ICT環境の整備と情報セキュリティの確保	①一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で「ほぼ毎日」活用したと答えた教職員の割合 【全国学力・学習状況調査 学校質問紙】	①小:50.0% 中:100% (参考)全国 小:58.2% 中:14.6%			【中学校教員に対するタブレットの全員配布及び回線増速】 GIGAスクール構想をより進めるために、学級に1台であったタブレットPCを中学校教員全員に配布した。また、タブレットの活用促進に対応するため、回線速度を増速した。 予算額:4,908千円	・ICT支援員の雇用 ・授業支援ソフトの導入	拡充	教育支援センター

※1 今後の方向性:【 拡充 継続 縮小 改善 】から選択

※2 所管課については、当該施策に関連する分野別計画の所管課や現時点の事務分掌を参考としており、今後、追加や変更の可能性あり